

公認内部監査人

CIA

Certified Internal Auditor



社会人に朗報！

教育訓練給付制度

指定コース有り

内部監査士の方必見！

**内部監査士
取得者
専用コース
新規開講！**

※詳細は、27ページをご覧ください。

Profession

TAC is aiming not only enhance the skills of existing professionals, but also to contribute to society by developing new professionals.

合格者割引制度

他資格合格者割引制度有り！

※公認会計士・U.S.CPA・中小企業診断士・税理士試験合格者対象

継続教育制度 (CPE) スタート

TACでもCPE単位を取得できます！

無料講座説明会出席者特典

¥10,000 入会金免除券プレゼント！

※詳細は裏面をご覧ください。

- 公認会計士 ●税理士 ●簿記検定 ●建設業経理士検定 ●米国公認会計士 ●公認内部監査人 (CIA)
- 社会保険労務士 ●中小企業診断士 ●IPO実務検定 ●証券アナリスト ●証券外務員
- ファイナンシャル・プランナー ●DCプランナー ●不動産鑑定士 ●宅地建物取引主任者
- マンション管理士・管理業務主任者 ●公務員 ●行政書士 ●通関士 ●弁理士 ●知的財産管理技能検定
- ビジネス実務法務検定 ●情報処理技術者 ●パソコンスクール ●介護福祉士

「義務と責任を経営者が負う時代」が到来。

内部統制の本来のあり方は、経営者の自覚に基づき主体的に取り組むべきものです。内部統制は長期的視野に立って企業価値を向上させ、企業の存続と発展を意図する継続的な経営管理活動そのものであるからです。経営者が為すべき本来の役割といえます。

ところが、米国では大企業による会計不祥事が発覚し、資本市場の信頼を大きく揺るがしました。日本でも同じく、大企業による不祥事が起こり、投資市場の信頼が損なわれました。

このように企業トップが関与する企業不祥事に対して、株主や投資家の保護を図るために、2つの法律が日本企業の内部統制を規定しました。一つは会社法で、統制環境を中心に全社的な内部統制が規定されました。もう一つは金融商品取引法で、評価対象を財務報告の信頼性を確保する目的で構築される内部統制に絞りました。さらに、全社的な内部統制のみならず、業務プロセスにかかる内部統制についても評価対象としているため、会社法よりも踏み込んで対象としています。

内部統制システムを構築する義務と責任を経営者が負う時代が到来したと言えます。日本取締役協会では、同協会会員の上場企業を対象に内部統制に関係するアンケート調査を実施しました。以下、調査結果をもとに書きます。

(1) 内部統制を統括する部門を設置したい

会社法での内部統制対応は、既存の法務部が実施して済ませるケースが多くみられました。ところが、金融商品取引法の内部統制報告制度の対応に関しては、新たに内部統制統括部門を設置する必要に迫られています。



TAC株式会社
代表取締役社長（CEO）
斎藤 博明
Saito Hiroaki

(2) 統制環境と経営理念との関係

内部統制の最重要の基本的要素は統制環境です。成長を続ける企業の多くは、経営理念や会社方針、行動基準を明文化し、具体的なリスクマネジメント基本方針やコンプライアンス基本方針を定めています。このような経営理念による経営を行う企業は、統制環境が極めて優れています。

(3) 現在の懸念材料は専門人材の不足

人員不足、専門的な知識を有する社員不足を現在の懸念材料に掲げる企業が最も多く68%に及んでいます。実施基準は「経営者を補助して評価を実施する部署及び機関並びにその要因」について「評価に必要な能力を有していること、すなわち、内部統制の設備及びその評価業務に精通していること、評価の方法及び手続を十分に理解し適切な判断力を有する」専門的な知識を持つ人材を求めています。そうした人材はまだ採用されていないため、企業の最大の悩みとなっています。

※参考図書：『内部統制の責任と現状』（日本取締役協会編）



CIA

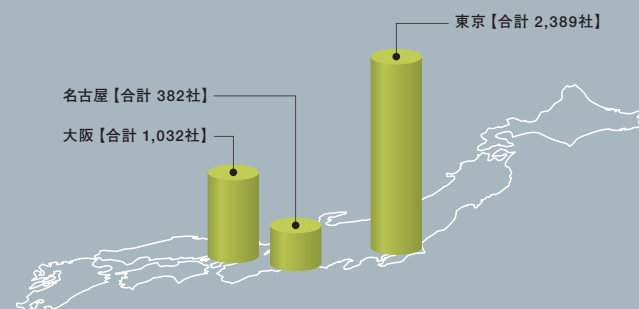
Certified Internal Auditor

公認内部監査人

内部監査の専門性を証明するCIA（Certified Internal Auditor）は、内部監査に関する指導的役割を担っている内部監査人協会（IIA）が認定する唯一の国際資格です！

Data Base 1

内部統制報告制度の対象となる上場企業数
【東京・大阪・名古屋 合計 3,803社】

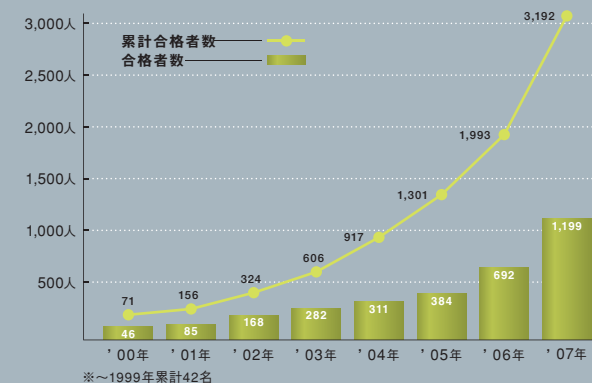


取引所名	一部	二部	新興市場	合計
東京証券取引所	1,729社	462社	マザーズ 198社	2,389社
大阪証券取引所	622社	240社	ヘラクレス 170社	1,032社
名古屋証券取引所	240社	112社	セントレックス 30社	382社

※上場会社数は2009年2月6日現在

Data Base 2

CIA試験 累計合格者数・合格者数



CONTENTS 2009-2010 LICENSE GUIDE

CIAの魅力とその可能性	P2
CIA実務家インタビュー	P4
試験制度・継続教育制度（CPE）	P8
合格者体験記	P10
ダブルライセンス取得のご案内	P14
合格への提案	P16
（プロフェッショナル講師陣・科目内容と学習のポイント）	
短期合格へ導くオリジナル教材	P18
戦略的カリキュラム	P20
学習メディア&特典・フォロー制度（通学・通信）	P22

コース案内	P24
内部監査士取得者専用コース	P27
日程表/e受付	P28
教育訓練給付制度	P31
無料体験入学・動画チャンネル・メールマガジン・受講相談	P32
受講料一覧	P34
申込方法・教育ローン	P36
申込規約	P37
TAC MAP	P40

CIA資格取得者は、いま多くの企業で求められているのです。

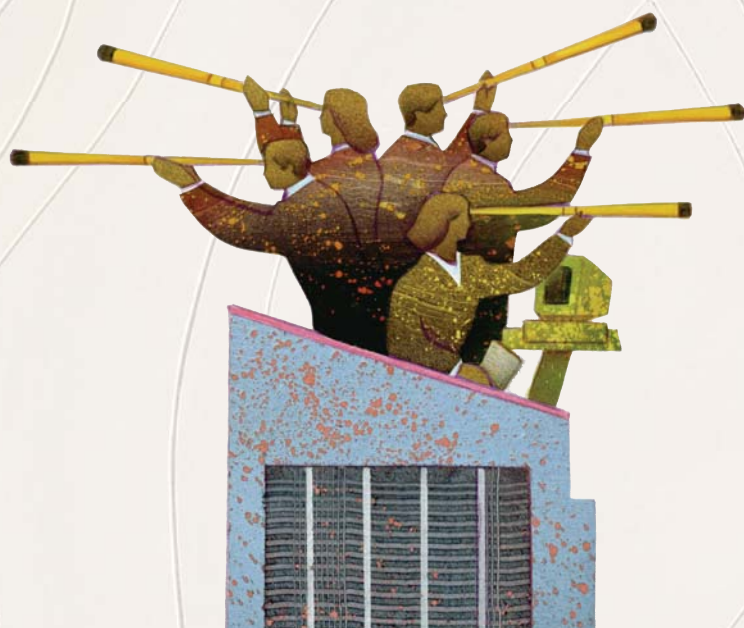


CIAの魅力とその可能性

CIA試験が開始された背景

CIAとは、内部監査人に関する唯一の国際的な資格であり、CIA資格認定試験に合格し、実務経験等の要件を満たした者に授与される称号です。CIA資格認定試験は、内部監査人の能力の証明と向上を目的とした世界水準の認定制度で、世界約80ヵ国で同時に実施されています。

企業を取り巻く経営環境が日々激変する中、近年、内部統制・内部監査の重要性が認識されるようになり、内部監査人の能力の証明に対する要求が高まりました。こうした状況から、CIAは業務に精通したプロフェッショナルとして、経営者の信頼を得て、21世紀のグローバル社会を勝ち抜くための、最良の資格といえます。



CIAを取り巻く環境（世界の動向）

金融、商社、電気機器、保険、エネルギー、サービスなど、世界各国のあらゆる分野で約70,000人のCIAが活躍しています。各国特有の規制過多、信用リスク不安、底の見えない金融デリバティブ商品、変動する商品リスク、金利リスク等、企業のリスク統括責任者（CRO）を悩ますさまざまな障壁が存在し、利潤追求と社会的責任（CSR）を負う企業のリスクマネジメントはますます混迷を深めています。CIAはそうした企業を取り巻くあらゆる環境の変化に敏感に反応し、その専門性に磨きをかけなくてはなりません。リスクへの対応の有効性をどう評価するかについて、内部監査のネットワークやセミナー、研究会等を通じて、その技術と専門性の向上に励むことも必要です。世界を覆う金融不安、増幅する経営リスクの変化に伴い、CIAはその経営基盤を支える内部統制の仕組みづくりができる専門家として期待されているのです。

CIAの役割と求められるスキル

内部監査の業務に品質があることはあまり知られていません。品質が保証されない内部監査は、コストがかさむだけで期待する効果は得られないのです。内部監査を実施する上で、基本的な監査技術や専門的な知識が必要なのは当然ですが、今、世界の主流は“リスクアプローチ”です。業務に潜むリスクの分析、工夫を凝らした監査プログラム、リスクに焦点を当てた監査プロセスなど、実務経験のみでは決して蓄えることのできない高度な理論の素地が必要となります。説得力のある判断や有効な評価はCIAの特長であり、会社法が定める内部統制の整備、金融商品取引法が求める財務報告に係わるコントロールの有効性評価などCIAへの期待は高まっています。その分、CIAには内部監査の品質を常に意識し、自身の専門領域や監査スキルの向上に不断の研鑽が求められているのです。

CIAの魅力及び今後の展望

日本のCIA試験合格者は2003年以降急増し、累計で3,200名を超え、その人気は高まるばかりですが、現状をみますと内部監査業務に携わる現役CIAの絶対数は不足しています。海外と比べて内部監査のプロが少ない我が国では、CIA資格を持つ実務経験者は貴重です。職業としての内部監査人が社会で認知され、内部統制の牽制機能を担う内部監査が企業に根づくにはCIA資格の保有が必須の要件となるでしょう。また、CIAが持つリスクを嗅ぎ分ける感性やリスクに対するコントロールの有効性の視点は、経営管理やコンプライアンスなど現場の管理にも有用です。先進的な企業ではそうした業務分野の人間にCIA資格取得を推奨しています。CIAの存在は、企業の内部監査の品質を維持するための道標（みちしるべ）となり、内部統制の重要な骨組みとなります。そして、CIAは内部監査の新しい時代を築く先駆者であり、その忠実な職務を通じて企業社会の重要な役割の担い手となることが期待されているのです。





CIA実務家インタビュー

資格取得はあくまでスタート。 真のゴールは内部監査のプロになることです。

◇CIAは専門性を証明する称号

——まず、近藤先生がCIAをめざそうと思われたキッカケからお聞かせください。

近藤：私がCIA資格を取得したのは2004年ですが、内部監査職としてのキャリアをスタートさせたのは1997年でした。当時さくら銀行（現三井住友銀行）に在籍し、ニューヨーク米州監査部門の立ち上げのために渡米しました。私自身は、それ迄ニューヨーク支店で8年勤務したものの、FRBや州銀行局などの監査や日銀考査を受ける立場で、監査業務の経験はありませんでした。現地にはマネジャーを含め15名程の米人スタッフがあり、ほぼ全員豊富な経験を積んだ内部監査のプロフェッショナルでした。彼らと共に監査業務に従事した2年間は驚きと闘いの日々でしたね。その経験を通してリスク中心の内部監査やプロの監査技術を学ぶことができ、何より、内部監査人という職業が存在するということが私に大きなインパクトを与えました。それが2002年に銀行を退職して、内部監査を天職にしようと決意するキッカケでした。

——CIA資格を取得することのメリットは何でしょうか？

近藤：独立当初、海外での監査業務経験に裏づけられた専門性の高さが自分の特長だと自負していましたが、日本では資格の有無を重視する傾向があるため、私もCIA取得に挑戦することになりました。CIA資格は内部監査の専門性を証明する称号になりますし、いまでは企業経営者の認知度も高く、国内外を問わず雇用チャンスが増えます。特に、内部監査の専門用語は世界共通で、海外のCIAたちとコミュニケーションを取ることができます。日本内部監査協会などの組織を通して専門的なネットワークを構築することもメリットの1つでしょう。



——CIAにはどんな能力が求められるのでしょうか？

近藤：内部監査は内部統制の有効性を評価し改善するのが仕事です。評価の過程ではリスクの分析や判断力、また最後の監査調書や報告書作成の段階では書く技術（writing skill）が求められます。結構この部分で苦勞される人が多いですね。しかし欠かすことのできないのは、指摘内容や監査結果に対する経営者や現場管理者からのナゼ？に答える説明力および表現力です。内部監査に説明力は必須の要件です。また、監査ではどんな業種、どんな企業にも対応できる応用力も必要ですね。内部監査に関する基本を会社の社風や理念にうまく同化させて監査を行えることが大切なのです。私の場合、米国で監査のプロセスや基本的な技術をしっかり身につけたことが大きなプラスになりました。

◇プロの内部監査人が求められる時代

——CIAの将来性についてお聞かせください。

近藤：現在、日本のCIA資格取得者は累計で3,200名を超えています。実際の監査業務に携わる現役のCIAは恐らく1,000名に満たないでしょう。一方、日本版SOX法の対応が義務づけられている上場企業数は約3,900社。CIAの絶対数はまだまだ不足しています。また、CIAの能力レベルでもアジア圏のシンガポールや香港に追いついていません。つまり、CIAの質・量ともに日本はまだ発展段階にあり、職業としての成長性・成功性は非常に高いと言えるでしょう。

——これからCIA資格取得をめざす人たちに、受験アドバイスとメッセージをお願いいたします。

近藤：CIA試験の合格率は20%に満たず、決して易しい試験ではありません。合格への近道は、やはりTACなどの資格学校の講座で学ぶのが効率的でしょう。もう1つ大切なのは、一緒に学ぶ仲間を作ることです。お互いの得意分野を教え合うなど協力して学ぶことで、学習のモチベーションを維持することができます。そして、勘違いをしてはいけないのは、CIA試験に合格することは目的ではないということ。真の目的は専門的な理論を内部監査の実務に活かすことです。相次ぐ企業不祥事や金融不安によって、今、時代はプロの内部監査人を求めています。その点、CIA試験の問題はケース・スタディが中心で、試験勉強自体が実務のための絶好のトレーニングになります。私のCIAセミナーにも最近は20代・30代の参加者が見られますが、そういう若い人たちには資格を取得するだけで満足せず、もう一步飛躍して本物のプロになって欲しいですね。そして、内部監査の意義やCIAの価値をメッセージとして国内外に発信できる人材に育ってくれることを心から願っています。



近藤 利昭さん Toshiaki Kondo

アイ・イー・アーク コンサルティング株式会社
代表取締役

CIA（公認内部監査人）
CCSA（内部統制評価指導士）
CFE（公認不正検査士）

TACの継続教育制度（CPE）
担当講師です！

※詳細は9ページをご覧ください。





CIA実務家インタビュー 2

私は知らないうちに
“宝物”を手にしていました。

佐伯 政徳さん Masanori Saeki
株式会社 エトロ ジャパン CFO
CIA (公認内部監査人)
U.S.CPA (米国公認会計士)

●私がCIAの取得を目指したキッカケ

素朴な疑問というのは、誰でも持っているはず。「あれっ、これは変だな?」という疑問や「そんなことをやっていて大丈夫なの?」という危機感。そういう思いを少しでも持っている方は、きっとCIAに向いていると思います。CIAというのは極端に言えば誰でも持っていて良い知識ですから、CIAはほとんどの方にお奨めの資格だということを冒頭で申し上げておきたいと思います。

私がCIA試験にチャレンジしようと思ったのは、「自分に向いている」と感じたことと、CIAの将来性、そして経理財務の限界です。会計基準というのは会計士や経理担当が知っている世界なのに対して、内部統制は様々な現場に踏み込んで行って、現場の理解や共感を得ながら作り込む世界です。その違いが、私の目には非常に新鮮に映ったということです。

●これからCIAを目指す方へのメッセージ

まずお伝えしたいのは、経理財務のスキルはやはり身につけたほうがキャリアアップになるということです。会社は経営の数値を投資家に見せるのがひとつの役割になりますから、数字に対する責任は非常に重いものです。その責任の懷に入る際に経理財務のスキルを持っていると、強いキャリアフレームになります。もうひとつは、コーチングのスキルを身につけるのがお奨めです。コーチングには、相手のターゲットにうまく導いてあげるとい役割がありますが、これを内部監査のコミュニケーションに応用すると、現場の声を拾いやすくなったり、たとえ衝突があっても流せる余裕が出てきます。この“流せる余裕”、つまり懷の深さが実は大切なのです。この2つのスキルを身につけることで、さらなるキャリアの飛躍が期待できます。

M&Aはこれまで以上の勢いで増加し、日本でも内部統制は当たり前の時代になりました。企業もクロスボーダー化し、これからますます多様な動きがあり得ます。そんな中、CIAはその冷静な視点で会社を見ることができるエキスパートであり、企業価値を上げることができる有効な資格とも言えます。私はたまたまキッカケがあってCIAの資格を取りましたが、知らないうちに「宝物を取った」と思っています。もし、あなたが「積極的な人生を得よう」と思うのであれば、CIAはチャレンジして絶対に損はない資格だと私は断言します。

世の中に“コントロールのプロ”は、
なかなかいません。

高瀬 浩幸さん Hiroyuki Takase
大手総合電機メーカー 内部監査部門勤務
CIA (公認内部監査人)

●CIAの資格を取って転職する可能性

内部監査部門として社内でキャリアアップを図っていくことも魅力的ですが、最近の転職市場では、多くの企業で金融商品取引法による内部統制監査に対応した人材を求めていることから、他社でキャリアアップを図っていくことも選択肢の1つとして挙げられます。コントロールの専門家であるCIA資格取得者かつ実務経験がある人材は、今までになく歓迎されることは確かで、確実にグローバルに活躍できるフィールドが広がってきています。

最近では、情報セキュリティ監査を行っている人もCIA資格を取得し、内部監査全般の知識をつけて仕事の幅を広げています。ITと内部監査に精通している人材は社内にとどまらず、他の会社にとっても魅力的であり、さらに大きな仕事をするためのキャリアアップも図れます。

●これからCIA試験を受ける方、受けようと考えている方へ

世の中に経営のプロはいますが、コントロールのプロはなかなかいません。CIAはコントロールの専門家です。CIA資格は、内部統制に対する経営陣の意識の高まりから今後ますます脚光を浴び、一目置かれる資格になること間違いなしです。また、内部監査部門が社長直轄の部署として位置づけられている会社も多く、成果が会社の経営に直結するため、やり甲斐も大きいです。しかし、その一方で責任や期待も年々大きくなっているのも事実です。ダイナミックな仕事をしたい方には、うってつけの部署といえます。



●内部監査という仕事

内部監査部門というと、一昔前は、地味で軽視され、会社のお荷物的存在の部署でしたが、昨今の経営を巡る環境変化の中で大きく様変わりしています。確かに、今でも会計不正に対するリスクが高いことから会計監査に重点が置かれていますが、従来の単なる指摘から「業務の効率性」に対するプロセス改善提案を助言するなど、コンサルティングの業務も増えています。内部監査は外部監査と違い、会社の内情をよく理解していることの強みを活かし、経営に役立つ監査を目指すなど経営陣の期待も年々大きくなっています。



試験制度・継続教育制度 (CPE)

●資格認定条件…CIA資格認定には、次の資格認定条件が必要です。

- (1) 教育要件：以下のいずれかに該当すること（受験申込み時に最終学歴の卒業証明書を提出）
 1. 四年制大学の卒業の方
 2. 大学・大学院の在學生（大学の場合、3年生以上）
 3. 大学・大学院の教員
 4. 上記1.2.3の要件に該当されない場合は、以下(3)の実務経験1あるいは2において、2年以上を満たしている方。（この場合は、申込み時に実務経験証明書の提出が必要となります。）
- (2) 推薦（受験申込み時、または全4Part合格後に推薦状を提出）
CIA、CCSA（内部統制評価指導士）、CFSA（公認金融監査人）などの認定資格の保持者または上司等による「推薦状」を、受験申込み時、または全Part合格後に提出しなければなりません。
- (3) 実務経験（受験申込み時、または要件を満たした時点で証明書を提出）
CIAとして認定されるためには、全Partに合格した方のうち
 1. 内部監査・監査役監査・外部監査・品質評価・リスクマネジメント・コンプライアンス・内部統制にかかわる業務のいずれかの実務経験を2年以上お持ちの方。
 2. 会計・経理・法務・財務のいずれかの実務経験を2年以上お持ちの方。
 3. 会計・法律・財務・経営に関する修士取得者は実務経験1年分に充当されます。
 4. 監査・会計・財務・法務に関する4年以上の教職経験は、実務経験2年分に充当されます。

(1) 教育要件を満たせば、受験は可能です。
※(2) 推薦と(3) 実務経験はCIAとして認定されるために必要な条件です。

●試験概要…CIA試験は、次の4科目から構成される、科目合格制です。

科目	トピックアウトライン	出題割合
Part I ガバナンス、リスク、コントロールにおける内部監査の役割	A. IIA属性基準の遵守 15～25% B. 内部監査業務の優先順位付けのためにリスクベースの計画策定 15～25% C. 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割の理解 10～20% D. 内部監査のその他の役割と責任 0～10% E. ガバナンス、リスク、コントロールに関する知識 15～25% F. 監査計画 15～25%	
Part II 内部監査の実施	A. 監査の実施 25～35% B. 個別業務の実施 25～35% C. 監査結果のモニタリング 5～15% D. 不正の知識 5～15% E. 監査ツール 15～25%	
Part III ビジネス分析と情報技術 (IT)	A. ビジネスプロセス 15～25% B. 財務会計と財務 15～25% C. 管理会計 10～20% D. 規制、法律、経済 5～15% E. 情報技術 (IT) 30～40%	
Part IV ビジネス・マネジメント・スキル	A. 戦略的マネジメント 20～30% B. グローバルビジネス環境 15～25% C. 組織行動 20～30% D. マネジメント・スキル 20～30% E. 交渉 5～15%	

※問題は世界共通の内容です。

□試験方式…コンピュータ・ベース・テスト (CBT)

- ※試験は、試験会場に備えられたパソコンにより出題・解答の全てが行われます。
- ※受験者が電卓を持参することは出来ません。パソコンの電卓機能を使用します。

□出題形式…四肢択一式

□出題数…各Part共100問

□試験時間…各Part共2時間45分

□受験言語…日本語または英語

- ※日本国内での受験については、日本語または英語から選択できますが、一度の受験で選択出来る言語はどちらか一方だけとなります。

□試験結果

採点は、Partごとに行い、得点は250から750ポイントのスケールでスコアに換算されます。合格ラインは各Part共600ポイント以上です。

※合格率は各Part共35～40%と予想されます（コンピュータ・ベース・テストへ移行する前のデータです）。

□合格Partの有効期間

各Partの合格については、1Part以上に合格後、2年以内に他のPartを受験しなければ、既に合格したPartは無効となります。しかし、この間に受験した場合は、既に合格しているPartについても、最後に受験した年月から更に2年間有効となります。

●免除科目

Part IVの受験については、以下の資格保持者に免除の特典があります。

公認会計士、U.S.CPA (Certificate取得者)、QIA (内部監査士)、CCSA (内部統制評価指導士)、CFSA (公認金融監査人)、CISA (公認情報システム監査人) 等

※上記の資格は一例です。詳細は日本内部監査協会ホームページでご確認ください。

●受験費用

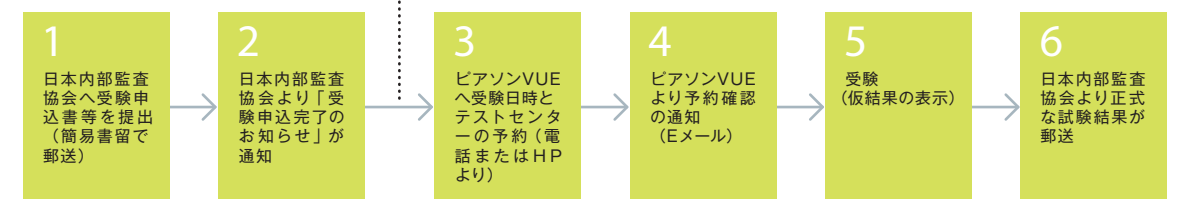
受験者区分 A：一般（学生・教員以外の方） B：大学／大学院の教員・学生（初回受験時のみ）

登録料（初回受験時のみ）	各Part受験料（各Part共通）	Part IV試験免除の場合の管理費
A：¥8,400 B：¥4,200	A：¥17,850 B：¥11,550	A：¥17,850 B：¥11,550

※大学／大学院の教員・学生には上記のように受験料の優待制度がありますが、初回受験時のみの適用となります。

●受験の手続

→ 申込みから認定までの流れ



ポイント1 ⇒ 日本内部監査協会への申込み完了後、テストセンターへの予約が必要！

ポイント2 ⇒ 日本での受験受付後、米国IIA本部にて登録を行います。世界各国からの登録がありますので、登録完了の通知まで約4週間前後かかります。

□試験会場…ピアソンVUEが認定するテストセンター（札幌市、宮城県、東京都、横浜市、名古屋市、大阪市、福岡市、那覇市）

□試験日…通年でPartごとに受験が可能
（テストセンターによって営業日が異なるためピアソンVUEのホームページ <http://www.pearsonvue.com/japan> でご確認ください。）

□試験結果…試験終了後に、コンピュータ上に仮の試験結果が表示。その後、IIA本部より正式な試験結果が発行。

□受験日…通年で受験が可能となり、受験申込みの締切日の設定はありません。申込みされた複数のPartを同じ日に予約し受験することも可能です。また、それぞれのPartを違う日に予約し受験することも可能です。なお試験日から90日間は同一Partの受験はできません。

継続教育制度 (CPE)

TACのCPEスタート！

継続教育制度 (Continuing Professional Education/以下CPE) とは、CIAがその称号を得た後も、常に専門職として相応しい能力・知識の開発を継続し、それらの称号を維持するに値することを証明することを目的とした制度です。内部監査実務に従事しているCIAの場合、2年毎に80CPE単位の取得が必要となります。

尚、CPE単位を取得しなかった場合でも、試験合格の結果に影響はありません。

□CPEの対象となる活動

日本内部監査協会や他の公共団体・企業等が主催する正式な研修等に参加すると、単位を取得する事が出来ます。他にもCPEの対象となる活動がカテゴリ別に分類されており、カテゴリにより単位の上限が決まっています。

※CPEの対象となる活動の詳細は、日本内部監査協会にてご確認ください。

□CIA継続教育制度 (CPE) 認定セミナー

TACのCPEはクオリティーが違います。皆さんもCIA実務の最先端情報の収集に、是非ご参加ください。

	タイトル	講師名	日程	CPE単位
第1回	内部統制と内部監査、その共通点とアカウントビリティ	近藤利昭 (CIA実務家)	2009年 7月 4日 (土) 10:00～12:30	3
第2回	リスクアプローチ監査の心髄		2009年11月28日 (土) 10:00～12:30	3
第3回	不正行為と内部監査		2010年 4月 3日 (土) 10:00～12:30	3

★3回分一括申込みの場合、講師著書「内部監査を活かす術（金融財政事情研究会発行）」を贈呈いたします。

□開講地区…渋谷校

□受講料一覧 (クラスNo.L1) ※本セミナーは、入会金¥10,000は不要です。

コースNo.	コース名	通常受講料 (5%税込)
109-001	①②③一括申込	¥25,000円
109-002	①内部統制と内部監査、その共通点とアカウントビリティ	¥10,000円
109-003	②リスクアプローチ監査の心髄	¥10,000円
109-004	③不正行為と内部監査	¥10,000円

このセミナーはCPE単位取得の認定セミナーとなっていますが、第一義的には受講生の皆様に聴講していただくことを目的として実施しています。内部監査のスペシャリストが実務の最先端情報について講義を致しますので、奮ってご参加ください。

講師のプロフィール・セミナーの内容等、詳細は公認内部監査人 (CIA) 講座継続教育制度 (CPE) 認定セミナーチラシをご覧ください。

<インターネットでのご請求>

<http://www.tac-school.co.jp/>

TACホームページからでも詳細をご覧いただけます。

<お電話でのご請求>

0120-509-117

※携帯・自動車電話、PHS、衛生電話からご利用になれます。

<受付時間> 9:30～19:00 (月曜～金曜) 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日)



CIA資格の試験制度・継続教育制度の詳細は、日本内部監査協会ホームページ・資格認定制度 (<http://www.iiajapan.com/system/>) でご確認ください。



合格者体験記 TACでよかった！ TACだから合格できた！

CIA試験合格者が語る
TAC講座の魅力とは？

Message from Winners

教えてください！私が合格できた理由。

企業の内部統制・内部監査の重要度が認知されるにつれて、人気急上昇中のCIA資格。その試験は学習領域が幅広く、短期合格には効率的・効果的な学習が不可欠です。それを可能にしたTAC講座のさまざまな魅力について、実際に合格を手にした受講生の方々に証言していただきましょう。



藤田 良一さん

短期集中と徹底した反復で4科目とも一発クリア！

●CIA試験を目指すようになったきっかけは？

CIA資格との出会いは、たまたま仕事で名刺交換をした相手の方が資格保持者で、「面白い名称の資格があるんだな」と印象に残ったことでした。その後、内部統制構築の仕事に関わる機会があり、しっかりした知識を身につけて将来的に自分の武器にしたいと考え始め、TACのパンフレットで日本での取得者がまだ少なく将来性があること、自分で受験日を設定できるユニークな試験制度であることを知り、最終的に受験を決意しました。

●TACを選んだ理由は何でしたか？

もともと税理士コースに通っていて信頼があったTACのDVD通信講座を迷わず選びました。

●ご自身の学習方法についてお聞かせください。

試験勉強に取り組むにあたって常に心がけたのは、「短期集中・徹底的な反復」ということでした。まずDVDの再生速度を速めることで「受講」にかかる時間を短縮しました。2倍速で通勤前に1時間、帰宅後に2時間、これで1日2時間の視聴が可能で、全パートを着手して4日以内で終わらせました。その後、自分で要点をまとめたレジュメを作成し、TACのトレーニング（カード式問題演習教材）とともに常に携帯して通勤時間や仕事の移動時間などを利用して反復学習を行いました。CIA試験は過去問題からそのまま、または少しアレンジしただけといった出題が多いため、過去問題をまとめたTACのトレーニングの反復が合格に直結します。私の場合、各パート300問を問題も含めてほぼ暗唱できるくらい繰り返しましたね。そのおかげで、本番試験で迷いなく解答できる問題があるということが精神的にも大きなメリットになりました。

試験では、3週間勉強して1科目を受験し、1週間休むというサイクルで、幸運にも4科目すべて一発合格することができました。朝5時半起床・夜2時就寝という生活ペースでしたが、4ヵ月という短期間だったので十分続けられましたし、平日に集中的に学習して休日は一切勉強せず家族と一緒に過ごすようにメリハリをつけたことが良かったと思っています。特に、休日の「子どもの笑顔」が自分にとって一番の原動力になりましたね。CIA試験は試験日が自分で設定でき、自分が頑張れば頑張るほど短期間で済みますので、仕事や家庭との両立に適した試験制度だと思います。

●TACを利用して良かった点は何ですか？

TACの教材は質・量ともに充実していてとても満足しています。他の教材に手を出さなくても十分に合格できる実力が身につくはず。DVDでの先生方の講義もとても分かりやすく、単なる暗記勉強ではなく内容そのものに興味を持てる素晴らしい講義でした。また、講座担当スタッフの方には受験相談などで大変お世話になり、孤独な受験勉強において大きな支えとなりました。さらに、TACでは資格取得後の継続教育制度（CPE）に対応したプログラムも実施されているので、資格取得者同士の交流の機会を含めて今後も頼りになる存在だと思っています。

●これからCIAを目指す方へメッセージをお願いします。

CIA資格は短期合格が十分可能で、しかも今の日本では希少な資格です。資格自体がメジャーな存在になり志望者が増加すると、問題が難しくなったり、合格率が下がったりするのが資格試験の常識です。「思い立ったが吉日」、CIA資格を取得するなら今がチャンスです！皆さんも“短期集中”で頑張ってください。



..... 更に多くの合格者の方からメッセージが届いています。

(五十音順)



岩 淵 弘 敏 さん

TACに相談の電話をしたことが合格につながった！

あと少しのところで合格できず、様々なところで受講相談をしましたが、自分に納得できるアドバイスを受けることができませんでした。そこで、TACに電話したところ、スタッフの方にいろいろと良いアドバイスをいただき、それがきっかけでTACの講座を受講することになりました。学習方法としては、教科書→問題集→答案練習という形式にとらわれ過ぎて頭が固くなっていたので、参考書や単行本を何冊も読んで頭を柔らかくするようにしました。また、日常のビジネスの場面で試験問題をオーバーラップさせ、試験と現実を組み合わせる工夫もしました。TACの講師やスタッフの方々には出題傾向や解法のテクニックなど、さまざまな面でアドバイスしていただき、とても感謝しています。あの時、思い切ってTACに電話しなければ合格できなかったと思っています。



打 田 昌 行 さん

一科目ずつ合格することで自然とやる気も湧いてくる！

私は通信講座を受講して、仕事と勉強を両立するための時間を捻出することに最大の配慮を払いました。そして、授業は集中して聴き、繰り返して聴かない、問題集は常に携帯してわずかな時間を見つけては、1日30題をコンスタントにこなす、問題集の正解に至る説明文を丹念に読み解いて出題の狙いを理解する、余分な問題集を購入しないなど、自分なりの学習方法で取り組みました。休日は仕事の疲れが蓄積して、なかなかテキストに手が伸びませんが、一科目ずつ合格していくと自然とやる気も湧いてきます。CIA試験は一科目ずつ受験ができ、自分の学習進度に合わせて受験日も選択できるので、短期合格が可能だと思います。これからもTAC講座を通して、より多くの方々が合格の栄冠を手に入ることを願っています。



奥 本 久 治 さん

早く自分の弱点を知ってそれを修正することが大切！

私は64歳という年齢で40年間も学校から遠ざかっていたので、教室で講義を受けることがとても新鮮で楽しく感じられました。受講形態も教室だけでなく、有料でDVD受講もできるので時間の制約を受けずに学習を進めることができました。講師の方々はその個性があり、各人が一生懸命に講義してくださいました。特に、私の弱点でもあった会計関連、IT関連は分かりやすく、かなり弱点をカバーできて自信を持つことができました。PartⅢの試験を1回で合格できたことは私にとって奇跡に近く、とても感謝しています。合格の秘訣は、自分に身につけている知識や考え方の弱点を知り、それを1つずつ修正することだと思います。私も同じ問題を何回も間違える腹立たしさが学習の刺激になりました。



鎌 田 一 哉 さん

内部監査特有の考え方を身につけることが大切！

TACは“資格の学校”として講座内容が信頼できること、通学時間の制約がないDVD通信講座があったことが受講の決め手になりました。CIA試験の問題はビジネスのモデルケースで出題されることが多く、実際の状況を考えて推測しながら解答することになります。そのため、単に知識を蓄積するだけでなく、内部監査特有の考え方を理解することが大切です。効果的な学習方法としてはTACの問題集をとにかく反復練習すること。TACの問題集は単語集のように短答式で反復がしやすく、持ち運びも便利なので効率的に学ぶことができました。私は計6回の受験でPartⅠ～Ⅳまで合格できましたが、CIA試験は自分の都合に合わせて受験日を決められ、もう十分と実感できるまで学習時間を取ることができるので、仕事と両立させやすい資格だと思います。



中 正 成 則 さん

わずかの点差で不合格に。試験は油断大敵だと痛感！

私は関西在住のため、講座案内のパンフレットを読んでDVD通信講座があり、サポート体制もしっかりしているTACなら合格できそうだと思い、受講を決めました。TACの教材はとても良くまとまっていて、特に切り離し可能なカード式問題集には助けられました。必要な分だけカバンに入れて持ち歩き、往復2時間弱の通勤電車の中で問題を解きました。手のひらサイズなので満員電車の中でも周りに迷惑をかけずに勉強できるところがいいですね。本試験はPartⅠ～Ⅲまでは一発合格できましたが、PartⅣはわずかに点数が足らず不合格に…。「もう大丈夫だろう」とつつい気なを抜いてしまったのが敗因でした。2回目の受験ではWeb答練もしっかりやり込んで見事にリベンジを果たしましたが、試験では“油断大敵”だということを改めて痛感させられました。



中島 宏宜さん

DVDでスケジュールを意識せず無理なく学べる！

勤務先の社長から「内部統制を行って欲しい」という指示があり、文献を読んだりしましたが理解しづらいことが多く、試験勉強を通じて体系的に学びたいと思いました。私は以前にTACで簿記1級の学習をした時と同様にDVD通信講座を受講しましたが、CIA試験は範囲が広く、かつ抽象的な内容が多いので、まずはDVDで講義をしっかり視聴しました。DVDは定期的に届きますので、自分でスケジュールを意識しなくても無理なく学習を進めることができました。あとは、問題集をひたすら繰り返して解き、正解不正解にかかわらず解説をしっかり読んで勝手な解釈・理解がないように努めました。TACの講座の場合、他にあれこれ教材を買ったり読んだりする必要がなく、学習に集中できたことが良かったですね。



西ヶ埜 潤也さん

合格した自分をイメージしてゲーム感覚で取り組んだ！

CIA試験の学習に臨むにあたって、最重要視したのは「無理なく継続できること」でした。合格に必要な勉強量と受験予定日までの日数から1日の勉強量を割り出し、それが消化しきれないと思ったら受験予定日をずらすようにしました。「やれば受かる。やらなければ落ちる。選ぶのは自分」と言い聞かせて。また、CIA試験に合格した自分の姿をイメージして、知識を獲得して成長していくゲームだという感覚で学習に取り組むようにしました。幸い、TACのDVD講義と携帯式問題集は私のマイペースな学習スタイルと相性が良く、おかげで1回目の受験で全科目合格することができました。CIAはまだ認知度が低い資格ですが、これから社会的なニーズは高まっていくはずで、いち早くその資格を手にてきて満足しています。



沼田 哲夫さん

Web答練のおかげで苦手問題を克服できた！

TACの講座を選んだのは、無料講座説明会に参加してテキストやカード式演習問題が使いやすいと思ったからです。私が受講したのはDVD通信講座で、通勤時間や昼休みなど自分の好きな時に学習できたことが良かったです。特に役立ったのはWeb答練で、テキストやカード式演習問題を丸暗記しただけでは理解できていない部分に気づくことができ、その問題を何度も反復練習することで苦手分野を克服することができました。また、Web答練はCIA試験と同形式で出題されるので、本番試験での時間配分の感覚を養うこともできました。7月から受講を開始して秋からほぼ1ヵ月に1科目ずつ試験を受けましたが、TAC講座で学びながら自分のペースで試験に臨めたことが合格につながったと思っています。独学ではとても合格への道のりは遠かったでしょう。



花澤 信二さん

本試験でTACの問題集と同じ問題が出題された！

TACを選んだのは、これまでも簿記やAFPなどの資格取得の際にTACの通信講座を利用しており、教材の使いやすさや講座の信頼度が分かっていたからです。私は通信講座でしたので、基本的な学習方法はテキストを1回ざっと読み通した後、DVDを視聴し、その上で問題演習を繰り返すというものでした。問題集の反復演習は4回行い、1問あたり1分以内で解答することを目標としました。4科目全体の学習期間は半年ほどでしたが、TACの教材は必要な論点がコンパクトにまとめられており、特に問題集は問題量・解説とも十分なボリュームで、本試験でもTACの問題集と同じ問題や一部の数字を変えただけの類題がかなり出題されました。問題演習をしっかり行えば、本試験では90%以上の得点を得られるはずだと思います。



藤井 尋教さん

見たことのない問題にもあわてず対応できた！

会社で株式公開準備業務に携わっており、有効な内部監査を実施するための専門知識を身につけたいと思い、CIA資格にチャレンジしました。TACの講義では、講師の方々がCIA試験の「解答のコツ」をたびたび教えてくださるので、それを聞き漏らさずに自分のスキルとして磨き上げていきました。その上でTACの問題集を何度も繰り返し解くことにより、解答を選ぶ明確な理由を考えながら問題を解く習慣が付き、本試験において見たことがない問題が出題されてもあわてずに解答することができました。CIA試験は一般論では解答するのが難しい問題もありますが、TACの教材をコツコツと読みこなせば必ず合格できます。通勤時間や休日を有効に使って効率的に学習し、しっかりと考える力を養ってください。

匿名希望さん

DVD講座は学習時間の少ない人にオススメ！

自分自身のスキルアップのためにCIA資格に挑戦したいと思っていた時、会計士試験などで実績のあるTACがCIA講座を始めると聞き、説明会に参加して申し込みを決めました。私の場合、平日は仕事であまり学習時間が取れなかったため、DVD通信講座があることもTACを選んだ理由の1つでした。DVDでの学習では、再生速度を変更できるソフトを使って4倍速程度で視聴して時間を節約し、授業を一通り視聴した後は問題集を3回以上繰り返し解いて理解度を深めました。特に、カード式の問題集は電車やバスの中でも見ることができるので、時間のない人にはとても便利です。CIA試験では、監査会計やシステム関連の仕事をしている方は実務経験が役立つと思います。ぜひ、多くの方に挑戦して欲しいですね。



松橋 渉さん

独学からTAC講座に切り替えて大正解でした！

私の場合、まず独学で学習をスタートしましたが、カバーすべき学習範囲が広いという点と、ポイントがつかみづらいことから、TAC講座の受講に切り替えました。TACには以前、FP資格取得の際にお世話になり、講義やテキスト・問題集がしっかりしていることを知っていました。CIA講座でも講義はポイントを過不足なく網羅しており、カバーすべきエリアが非常に広いCIA試験では本当に助かりましたね。また、平日にまとまった学習時間がとれなかった私にとって、週末にまとめて気持ちを集中して講義を受けられるビデオ講座はとてもありがたかったです。私が受験準備を開始してから取得まで1年強かかりましたが、独学をせず最初からTACの講座で学んでいればもっと早く効果的に取得できたと思っています。



三浦 功さん

家族の理解と協力を得ることが合格への近道！

銀行勤務で監査部門に配属された経歴があり、何より「内部統制」に強い興味があったことがCIA受験のきっかけでした。私はDVD講座を受講しましたが、並行して生講義も受講できる点に非常に感謝しています。富山県に住んでいますが、月1回上京して生講義を受け、同じ目標に向かって勉強している仲間たちの顔を見ただけでも、とても良い刺激になりました。また、学習を継続するには家族の理解が第一です。妻は理解してくれて、小中学生の子どもに理解させるのは難しく、土日の休日のうち昼間半日と夜一回は家族との時間と決め、残された時間で勉強スケジュールを立てました。家族を犠牲にして資格を取得しても、自分の将来には何の糧にもならないと自分に言い聞かせるようにして乗り切りました。



山道 昌雄さん

転職のための限られた学習期間で合格に到達！

転職先の幅を広げたいと思い、CIA試験にチャレンジしました。転職のために学習期間を限定せざるを得なかったため、可能な限り毎日一定の勉強時間を確保することに決め、まずテキストをできるだけ早いスピードで1回だけ精読し、分からない用語などはインターネットで検索して理解するように努めました。問題集は1回目は時間がかかっても自分の頭で考えて解答し、間違えた問題のみ2回・3回と解答時間を意識しながらやり直しました。TACの教材はテキスト、カード式問題集、講義内容のレジュメなど、学習のポイントをつかむのにとても役立ったと思います。また、モチベーションを維持すること、必ず1回で合格するという意識を持つことを心がけ、3ヵ月という短期間で3科目に合格（PartⅣは免除）することができました。

匿名希望さん

自習室を利用して真夏でも快適に学習できた！

TACのDVD通信講座は好きな時間に学習できるのが良いですね。単に講師による講義の映像だけでなく、補助資料や図表などのプレゼンテーションが合間に入っているので飽きないで効果的に学べました。ただ、勉強しようという意志がないと、アツという間に送られてきたDVDの山ができてしまうでしょう。また、水道橋校の自習室は真夏の暑い時期でも快適に勉強できるので、頻繁に利用させてもらいました。効果的な学習方法としては、とにかくTACの問題集をできるだけ多く解くことに尽きます。問題集は持ち運びに便利ように作られているので、出張の移動時間に勉強することができて重宝しました。一通り勉強するには半年ほど必要ですが、半年間真面目に勉強すれば必ず合格すると信じて取り組んでください。



「公認会計士」「U.S.CPA」「中小企業診断士」「税理士」
試験学習者必見！！

公認内部監査人(CIA)資格を取得しよう！

～TACはあなたのさらなる飛躍をサポートいたします～

- ★科目合格制だから、取得しやすい！
- ★いつでも受験できるフレキシブルな試験制度！
- ★科目免除制度あり！

**合格者
割引制度有り！**
詳細は、35ページを
ご覧ください！

今、皆さんがお持ちの知識で狙える資格があります。その中
の一つが公認内部監査人(CIA)です。

CIA試験は全部で4科目。公認会計士・U.S.CPA・中小企業
診断士・税理士試験の合格者はもちろんのこと、この試験の学
習をしていた方は学習済みの範囲も多く、取得しやすい資格で
もあります。是非、上記資格を学習したこの機会に、公認内部
監査人(CIA)資格も取得してみたいかがでしょうか。

学習経験者・受験経験者の方に最適！
**ダブルライセンスに
チャレンジ！！**

他資格学習論点比較表

公認内部監査人(CIA) 各Partの主要論点	公認会計士	U.S.CPA	中小企業診断士	税理士
Part I【内部監査概論】	△	△	×	×
Part II【内部監査実務】	△	△	×	×
Part III【会計・IT等】	△	○	○	△
Part IV【経営学】	○※▲	△▲	○	×

○＝学習済み △＝一部学習済み ×＝未学習 ※＝選択科目による
▲＝公認会計士・U.S.CPA(Certificate)の資格保持者はPartIVの受験が免除となります。

CIA試験は、会計を中心とした学習論点の体系となっていますので、会計の知識を既に有していることは、受験に
あたって大きなアドバンテージとなります。上記の他、**会計系・アナリスト資格を学習済みの方はPartⅢ、IT系資
格を学習済みの方はPartⅠ・Ⅱ・Ⅲについて、一部学習論点が重複しており、ダブルライセンスを狙いやすい資格**
といえます。

- ◆CIA試験の内容については、8・9ページをご覧ください。
- ◆CIA試験にご興味のある方は、無料講座説明会にお越しください。
- ※詳細は当パンフレット裏面をご覧ください。

※個人によっても知識のレベルに差がございますので、上記の他資格学習論点比較表は一つの目安であることを
予めご了承ください。

●“U.S.CPA”と“CIA”試験に合格！



熊倉 茂さん

内部監査人になったつもりで楽しみながら学ぼう！

TACにはU.S.CPA取得の際にお世話になりました。講師の方々が皆、ハイレードであることは一度でも
講義を聴けば実感できるはずです。多忙なビジネスマンにとって複数の受講形態を選択できることも大きなメ
リットです。CIA合格の秘訣は、1つのトピックについて経営者の立場、内部監査人の立場、一般従業員の立場
など、複数の視点で考える習慣を身につけること。また、実務経験のない人は内部監査人になったつもりで勉
強すると、楽しく乗り切ることができると思います。そして、すべての資格試験に共通するかもしれませんが、
絶対あきらめないという強い心が不可欠です。その点、TACは合格レベルまで効率良く到達させるノウハウは
さすがだと思います。自信を持って他の受験生にもおススメしたいですね。

TAC 開講講座案内

「受講生をいかに短期合格に導くか」。

資格の学校TACは創立以来、常にこのテーマを追求しています。

CIA試験の特性と受講生ニーズに合わせたTAC独自の合格メソッド。

忙しいビジネスパーソンも無理なく合格を目指す、

CIA試験対策コースを提供します。



INDEX

合格への提案 (プロフェッショナル講師陣・科目内容と学習のポイント) ……	P16
短期合格へ導くオリジナル教材 ……	P18
戦略的カリキュラム ……	P20
学習メディア&特典・フォロー制度(通学・通信) ……	P22
コース案内 ……	P24
内部監査士取得者専用コース ……	P27
日程表/e受付 ……	P28
教育訓練給付制度 ……	P31
無料体験入学・動画チャンネル・メールマガジン・受講相談 ……	P32



入会金と受講料の一部が戻って来る
教育訓練給付制度
指定講座申込受付中！

一定の要件をみたすと、

[入会金・受講料]の20%が支給されます！

TACが開講するCIA講座には

「教育訓練給付制度」指定講座が含まれます。

詳しくは31ページをご覧ください。



合格への提案

ここでは、さらに各科目の内容 と学習のポイントについて解説します。

TACが選ばれる理由 1 プロフェッショナル講師陣

TACの講師はCIAの実務家や各分野のプロフェッショナルが講義を担当しています。

学習のポイントを押さえたら、いよいよ学習開始。TACの講師が皆様をサポートいたします。



大隈 慎吾 (おおくま しんご)

企業に厳格な内部統制を求める社会の声はますます強くなってきています。それだけに、CIAは今後ますます重要な資格になっていくでしょう。皆さんが必ず合格できるよう、私達TAC講師一同は全力で応援します！



二瓶 豊 (にへい ゆたか)

CIA試験は、学習範囲がとても広い試験です。しかし、問題は択一方式のみですので、論述問題もある試験に比べて受け易くなっています。広い知識を持つことで、将来の内部監査業務に必ず役立ちますので、将来を見据えて勉強していきましょう！



栗原 正樹 (くりはら まさき)

現在、企業は環境変化の大きな波の中にあり、企業はこの波を乗り越えるため、新しい業務の仕組みを求めています。内部監査人は、まさに企業及び時代に求められる職業であると言えるでしょう。企業の、そして皆さんの更なる飛躍のために一緒に頑張りましょう。



三堀 秀峰 (みつほり ひでたか)

会計の本質を理解するためには、具体的なイメージを持つことが大切です。TACのカリキュラムは初学者の方にとっても効率的に理解できるようになっています。短期合格を目指して一緒に頑張っていきましょう。

◆各科目の学習内容

科 目	トピックアウトライン	出題割合
Part I ガバナンス、リスク、コントロールにおける内部監査の役割	A. IIA属性基準の遵守 15~25% B. 内部監査業務の優先順位付けのためにリスクベースの計画策定 15~25% C. 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割の理解 10~20% D. 内部監査のその他の役割と責任 0~10% E. ガバナンス、リスク、コントロールに関する知識 15~25% F. 監査計画 15~25%	
Part II 内部監査の実施	A. 監査の実施 25~35% B. 個別業務の実施 25~35% C. 監査結果のモニタリング 5~15% D. 不正の知識 5~15% E. 監査ツール 15~25%	
Part III ビジネス分析と情報技術(IT)	A. ビジネスプロセス 15~25% B. 財務会計と財務 15~25% C. 管理会計 10~20% D. 規制、法律、経済 5~15% E. 情報技術(IT) 30~40%	
Part IV ビジネス・マネジメント・スキル	A. 戦略的マネジメント 20~30% B. グローバルビジネス環境 15~25% C. 組織行動 20~30% D. マネジメント・スキル 20~30% E. 交渉 5~15%	

※問題は世界共通の内容です。

◆TACのプロフェッショナル講師陣が教える科目別合格の秘訣

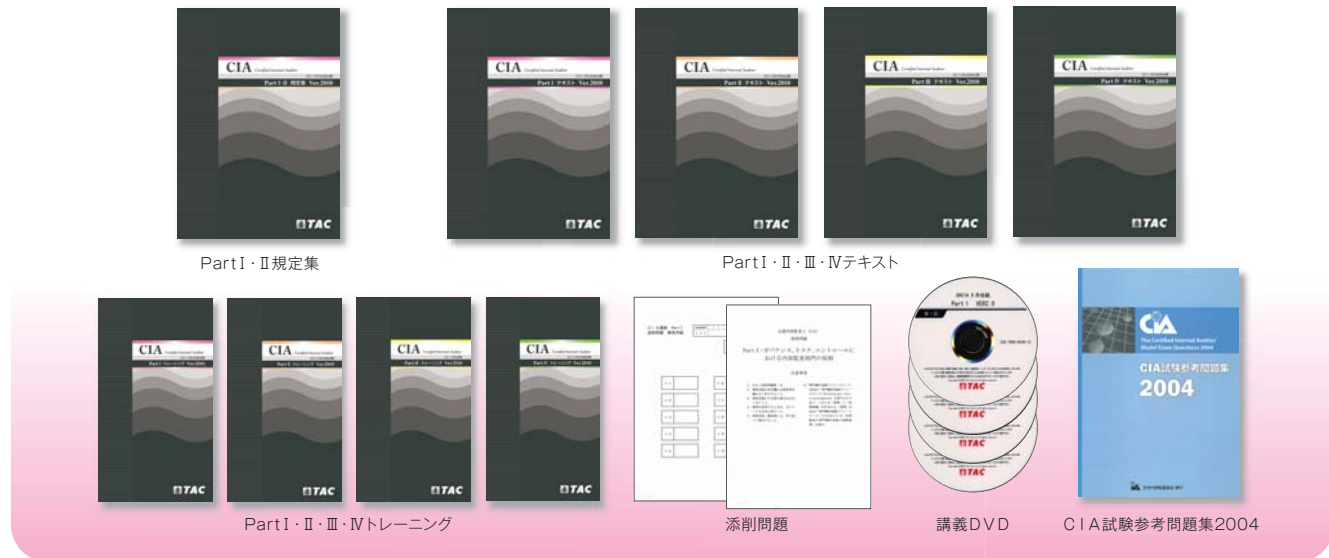
出題範囲が広い試験ですが、実務的かつ基本的な問題が多く出題されています。しかも問題はすべて択一式ですので、ヤマを張らずに、広く、浅く、まんべんなく学習することが合格の秘訣です。

講師が教える科目別の学習ポイント	
I	内部監査の規定集である「専門職の実施のフレームワーク」に基づいて、内部監査人の資質、内部監査の役割および監査計画といった内部監査の前提となる知識について学習します。学習にあたっては、規定をさまざまな角度から分析し、内部監査の前提となる諸条件を本質から理解することがポイントとなります。
II	内部監査の実施にあたって必要となる個別業務、監査結果、不正および監査ツールの具体的知識について学習します。ケーススタディーとなりますので、トレーニングを教材の中心に据えて、各問題のシーンにおける判断力を身につけていくことが学習のポイントとなります。特に「不正の知識」は重要論点となります。
III	内部監査にあたって必要となる周辺知識について学習します。会計、情報技術(IT)を中心に学習範囲が多岐に渡るため、すべてを完璧に理解しようとするのではなく、要点を押さえながら、応用力で問題に対応できるようにしていくことが学習のポイントとなります。
IV	経営戦略やコミュニケーションについて学習します。Part I~Part IIIが会社を内側から見る視点(イメージ)で学習するのに対して、Part IVは会社を外側から俯瞰する視点(イメージ)で学習することが重要となりますので、その視点の切り替えができるかどうか、学習のポイントとなります。



TACが選ばれる理由 2

短期合格へ導くオリジナル教材



※教材の写真はイメージであり、デザインは変更される可能性があります。予めご了承ください。

使用教材について

- ◆Part I・IIの規定集は1冊にまとめられています。
- ◆テキスト・トレーニングは各Partに1冊ずつとなります。
- ◆添削問題は各Part全1回です。
- ◆CIA試験参考問題集2004は4科目・3科目本科生申込み者のみとなります（単科生申込み者は対象外）。
- ※通学の場合は各校舎の受付で、通信の場合は初回の教材送付時に発送します。

1 Part I・II 規定集 **完全収録！**

規定集は、内部監査のバイブルである「専門職実施のフレームワーク」を、Part I・IIの学習に合わせて編集した教材です。規定集があることで、Part I・IIの学習内容を集約することができます。また、規定の全体像や重要度を把握することで、有効かつ効率的な学習が可能となります。

3 トレーニング・Webトレーニング **大好評！**

トレーニングは、CIA試験の過去問を編纂した、カード式の問題演習教材です。トレーニングの問題は、Webトレーニングとして、すべてWeb（パソコン）において演習することもできますので、問題の質・演習方式により、実戦的な学習が可能となります（各Part300問）。

- システム手帳サイズのカードスタイルなので、持ち運びにも便利です。
- 苦手な問題などを抜き出して、並び替えて学習を進めることが可能となる為、弱点の克服には最適です。
- Web上でもトレーニングの問題演習が可能です。
- ※受講期間内であれば、何回でもご利用いただけます。

※トレーニングには、バインダーは付属しておりません。TACで販売している「LICENCE BINDER（1冊400円）」、または、市販されている「システム手帳リフィル保存用バインダー」等をご利用ください。

※Webトレーニングの動作環境は、TACホームページ（<http://www.tac-school.co.jp/>）内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。

2 テキスト **シラバス完全準拠**

テキストは、論点のポイント解説教材です。テキストを論点のポイント解説教材とすることにより、シラバスの出題レベルに合わせて、常に論点のポイントにフォーカスした戦略的な学習が可能となります。また、学習上の要である専門用語を用語一覧として収録。用語の解説を確認することでスムーズに学習が進められます。

4 添削問題

各Partに添削問題が1回付いています。添削問題を通じて、基本知識の理解度をチェックすることができますので、ペースメーカーとしてもご利用ください。※添削問題はDVD通信講座のみとなります。

5 講義DVD

教室講座を生収録したDVDをお届けします。教室の臨場感あふれる講義をそのまま体験できます。

※講義DVDはDVD通信講座のみとなります。

6 CIA試験参考問題集2004 **本科生特典①**

日本内部監査協会発行の参考問題集です。各設問は過去問または新規に作成された問題ですが、受験者が試験の傾向を知ることが出来るよう、設問の形式、長さ、内容について試験問題の見本となるものになります。

※この問題集は、実際のCIA試験でどのような結果を得るかを保証するものではありません。

※CIA試験参考問題集2004は4科目・3科目本科生申込み者のみとなります。

TACでは、CIA試験対策で高い評価を得ている、米国「Powers Resources Corporation」より教材ノウハウの提供を受け、そこにTACの教材開発力を積み上げて、教材を制作しています。TACの教材は、CIA試験の出題内容（シラバス）にも完全準拠しています。



◆テキスト解説



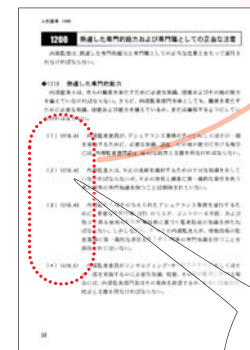
テキストとトレーニングの相乗効果で知識が定着！

テキスト&トレーニングを繰り返し学習することで、①基本知識の習得⇒②弱点部分の確認⇒③知識の総まとめ、といった学習の流れが自然と作れますので、合格レベルに到達するには非常に効果的です。

TACのテキストはCIA試験のシラバス（試験の出題範囲の詳細）に完全準拠しています。論点タイトル・出題割合を記載しており、短期合格に必要な論点のポイント解説に重点を置いて開発したテキストです。図や表を重要ポイントのまとめとして、また本文の理解に役立つように適宜挿入しています。

テキストと規定集（Part I・II）は完全にリンクしているので、知識の確認には最適！

◆規定集解説（Part I・II）



テキストには「国際基準」など、該当する関連規定の番号が記載されていますので、規定集に記載の関連規定を確認したい時には大変便利です。

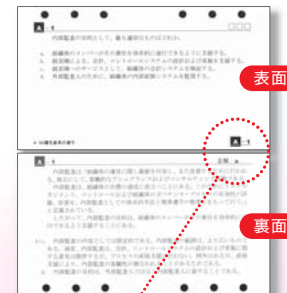
テキストと規定集は完全リンク！

テキストで学習中、必要な関連規定がすぐに調べられるようになっています。

◆トレーニング解説



過去問を徹底的に研究・分析し、受験にあたり、効果的な学習ができるよう作成した問題集です。その効果が最大限となるように、カードスタイルとなっています。



カード1枚を1問（表面が問題、裏面が解答）とし、表面のページロゴで裏面の解答が透けて見えないように工夫されています。



更にCIA試験と同様の形式で問題演習が実施できる、Webトレーニングもご用意しました。

パソコン上で、冊子のトレーニングと同じ問題を解くことができますので、あわせてご利用ください。

◆用語一覧解説（テキストの巻末に掲載）



各Partのテキストの巻末には用語一覧が載っています。学習を進める上でわからない専門用語が出てきた場合には、用語一覧で確認することができますので、学習時間を効率的に活用することが出来ます。

サポートコース（オプション講座）

TACでは、いくつかのサポートコース（オプション講座）もラインナップしています。論点の基礎学習や弱点補強、問題演習用としてご利用ください。なお、サポートコースである会計学入門（Basic会計講座）・IT対策講座・Web答練は、本科生・単科生には含まれておりません。

●サポートコース（オプション講座）についての詳細は26ページをご覧ください！

それぞれの教材の相乗効果により、着実にレベルアップがはかれます！

TACが選ばれる理由 **3 戦略的カリキュラム**

短期合格を目指せるのはもちろんのこと、
内部統制に関する知識がないという初学者の方でも安心して学習できるカリキュラムです。

●CIA4科目本科生

CIA試験に向けて、全4科目の学習を効率的かつ効果的に進め合格を目指すのが「CIA4科目本科生」です。バランスのとれたカリキュラムと、コンパクトにまとめられたテキストが約4ヵ月間という短い期間での合格を実現します。単科生でお申込みいただくのと比べて、約30%も割安な受講料でお申込みいただけます。

●CIA3科目本科生

公認会計士やU.S.CPA (Certificate取得者) といった資格保持者で、PartⅣが免除となる方向けのコースです。PartⅠ～Ⅲまでの学習を行います。

無料体験講義をWeb配信！

詳細は32ページをご覧ください。

◆教室フリーパス (本科生のみ)

本科生をご受講の方は、受講形態 (教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座) に関わりなく、ご自身の受講期間内であれば開講している教室講義に自由に出席することができます。

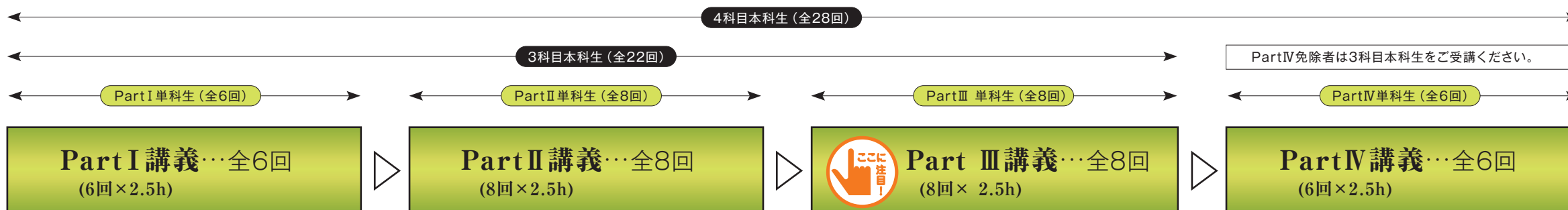
- ・直接講師に質問ができる
- ・講義DVDでインプットした知識を教室講義で再度チェック
- ・他の受講生と一緒に講義を受けることにより、モチベーションアップ

○受講期間

- ◆2009年夏入学コース…2010年7月31日まで
- ◆2009年冬入学コース…2010年11月30日まで
- ◆2010年春入学コース…2011年3月31日まで

上記の受講期間内であれば、全ての教室講義に出席することができます。

※教室フリーパスは教室講義に出席できる特典です。
通学ビデオ (DVD) 講座での視聴は出来ませんので、ご注意ください。



各Partの基本テキスト(各1冊)を使ってインプット

まずは、論点整理の見極めが重要！！

CIA試験は範囲が広く、全てをテキストに網羅しようとする、辞書のような厚さになってしまいます。TACの基本テキストは、短期合格の為に、出題の可能性の高い論点を中心にまとめられています。

学習のリズムを作る講義
各Partで求められている知識は何か？意識しながらインプット

PartⅠ・Ⅱは規定集 (1冊) が付いています

規定集は、内部監査のバイブルである「専門職の実施のフレームワーク」を、PartⅠ・Ⅱの学習に合わせて編集した教材です。規定集があることにより、PartⅠ・Ⅱの学習内容を集約することができます。また、規定の全体像や重要度を把握することで、有効かつ効率的な学習が可能となります。

各Partのトレーニング(各1冊)を使ってアウトプット

トレーニングで過去の出題形式に慣れる！！

TACでは、トレーニング中心の学習方法をお勧めしています。CIA試験では、ケーススタディ中心の出題がなされる為、テキスト⇒トレーニングという学習の流れよりは、トレーニング⇒不明点をテキストで確認、という学習の流れの方が効率的だからです。

トレーニング
類似問題、ひねった問題に対応できるように、常に全体のイメージを意識してアウトプット

Web答練 (別途申込みが必要です)

Web答練は、Web (パソコン) において答案練習することができる模擬試験です。CIA試験と同形式で出題され、成績はレーダーチャート等で分析できますので、CIA試験の直前対策としてご利用ください。

チェックポイント

⇒ トレーニングを繰り返し解くのは効果的な学習方法です。しかし、「トレーニングからの出題」であれば問題を覚えてしまえばいいのですが、過去問がベースのトレーニングであっても「出題される可能性がある」というだけのものですので、重要なのは、CIA試験に柔軟に対応できる能力を身につけることになります。問題の形式や問い方が変わっても解答を導き出せる力と論点の本質的な理解がポイントです。

⇒ トレーニングは過去問をベースにしており、とて「過去問の一部」であり、トレーニングから多くではありません。しかし、同じ問題が出題されると、和訳 (米国の試験の為) による違和感に慣れるという意味ではメリットが大きいといえます。

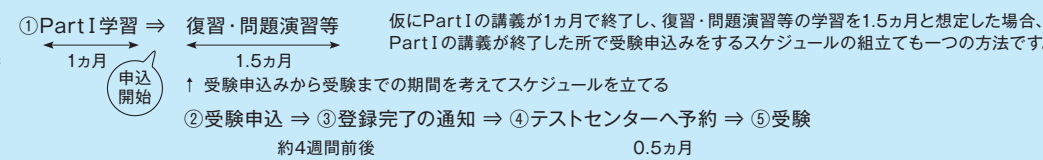
⇒ トレーニングの問題は過去問をベースに、各Part共300問を収録しています。更にCIA試験と同様の形式で問題演習が実施できる、Webトレーニングもご利用いただけます。
※冊子のトレーニングとWebトレーニングの問題は同じものになります。

各Partの学習が終了したら、いざCIA試験へ！

CIA試験はPartごとに受験することができます。その為、学習した知識を忘れないうちに受験することをお勧めいたします。日本内部監査協会に受験申込み等の書類を提出して、その書類が届いてから登録完了の通知が受験者の方に届くのが約4週間前後となります。それから各テストセンターへ受験の予約を入れて、試験日が確定します。従って、各Partの学習が終了し、復習や問題演習を行う時間を考慮して受験日を決定する必要があります。

受験までの流れの一例

～ご自身の生活環境 (お仕事の状況) と学習状況を踏まえたスケジュールでの受験が必要～



CIA試験

合格！

会計を初めて学習される方、
IT対策に更に力を入れたい方の為の
サポートコースをご用意しました！

会計の学習が初めての方に最適！

～PartⅢ学習前にご受講ください～

■会計学入門 (Basic会計講座)

(別途申込みが必要です)

初めて会計を学習される方でも、PartⅢの講義を安心して受講していただけるように、会計学入門 (Basic会計講座) では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。
※PartⅢの講義は、財務会計・管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります (日商簿記2級レベル)。必要に応じて、会計学入門 (Basic会計講座) をご受講ください。

最難関のIT (情報技術) もこれで万全！

■IT対策講座

(別途申込みが必要です)

IT (情報技術) は、PartⅢにおいて出題割合の30%～40%を占めるとともに、PartⅠ・PartⅡでも出題される最重要論点です。IT対策講座では、この最重要論点について、各Partの断片的知識を有機的に結合し、科目横断的に徹底したCIA試験対策を行います。



学習メディア&特典・フォロー制度

選べる学習メディア

通学スタイル

TACに通っていただき、迫力ある生講義を教室または各校のビデオルームで受講する学習スタイルです。



教室講座



迫力の講義はわかりやすさが断然違う！

日程表に沿ってTACの教室に通学する学習スタイルです。迫力あふれる講義を生で体感でき、直接講師から合格のノウハウを吸収することができます。同じ目標を持った多くの受講生とのコミュニケーションも教室講座受講の魅力です。

※教室講座の開講は、水道橋校のみとなります。



- ◆疑問点はTACの講師に即質問、即解決できる！
- ◆通学スタイルだから学習のペースがつかみやすい！
- ◆身近にいる受講生同士で、情報交換などが行える！



ビデオ(DVD)講座



DVDルームで集中学習、スケジュールは自由自在！

ご自身の都合の良い日に予約して、TACのDVDルーム内の個別ビデオブースで教室講座を収録したDVDを見て学習するスタイルです。「自分のペースで学習したい」、「集中できる環境で学習したい」という方にオススメです。



- ◆受講日も時間帯も自分の都合で決めることができる！
- ◆巻き戻し・早送りで重要ポイントも見逃さない！
- ◆講義録(板書の写し)が付くので、ノートに写す作業が省け、講義に集中できる！

受講システム

1. まずは視聴日(受講)の予約

視聴日程は、各コースのビデオ(DVD)視聴開始日以降(29ページ参照)であれば各自の都合に合わせて、自由に組んでいただけます。ご視聴にあたっては予めご予約をお願いします(詳しくはTAC各校にお問い合わせください)。

2. そして当日TAC DVDルームにて視聴

予約した日時に、DVDルーム窓口にて、DVD・講義録・レジュメ等をお受取りになり、DVDルーム内でご覧いただけます(DVDの貸し出しは行っておりません)。

- | 時間帯 | ① 9:30~12:30 | ② 12:30~15:30 | ③ 15:30~18:30 | ④ 18:30~21:30※ |
|-----|--------------------|---------------|---------------|----------------|
| | ※日曜日は④の時間帯はございません。 | | | |

3. 校舎間の移動も自由！あなたの学習ペースに合わせて、いつでもお近くのTACで受講できます！

＜ご注意＞…DVD通信講座における視聴にはDVD・R対応プレーヤーが必要となります。パソコンやゲーム機などでの再生は動作保証対象外となりますのでご注意ください。



DVD通信講座



自宅が教室になる！
DVDで臨場感あふれる迫力の講義を再現！

教室の講義を収録したDVDをお届けします。高画質・高音質なDVDは、早送りも簡単、巻き戻しも不要で機能性も抜群。コンパクトで収納場所にも困りません。



- ◆サーチやスキップの操作で繰り返し学習が可能！
- ◆自分のペースで学習ができるので、忙しい社会人には最適！
- ◆講義録(板書)の活用でノート作成不要だから講義に集中できる！

TACには特別な受講メリットがあります！！

◆教室フリーパス(本科生のみ)

本科生をご受講の方は、受講形態(教室・ビデオ(DVD)・DVD通信講座)に関わりなく、ご自身の受講期間内であれば開講している教室講義に自由に出席することができます。

○受講期間

- ◆2009年夏入学コース…2010年7月31日まで
- ◆2009年冬入学コース…2010年11月30日まで
- ◆2010年春入学コース…2011年3月31日まで

上記の受講期間内であれば、全ての教室講義に出席することができます。

※教室フリーパスは教室講義に出席できる特典です。通学ビデオ(DVD)講座での視聴は出来ませんので、ご注意ください。

本科生特典②

＜受講方法の一例＞ 仕事が忙しくて、通学講座が難しい社会人の方



- ・直接講師に質問ができる
- ・講義DVDでインプットした知識を教室講義で再度チェック
- ・他の受講生と一緒に講義を受けることにより、モチベーションアップ

万全のサポート体制

TACでは、受験生の皆様が安心して学習していただけるよう、万全のサポート体制を整えています。また、学習メディア別に充実したフォロー制度もご用意しております。



教室の特典・フォロー制度



ビデオ(DVD)フォロー(有料)

欠席された講義を、TACビデオルーム内の個別ブースにてご視聴できます(要予約、有料¥500/回 講義録付)。
※TAC直営校での視聴に限られます。TAC提携校ではご視聴いただけませんので、ご了承ください。



追っかけビデオサービス(無料)

開講日が過ぎてても、過ぎてしまった講義の部分をビデオ(DVD)講座で受講し、教室講座の日程に追いついたところで教室講座に出席することができます。



教室・ビデオ(DVD)講座共通の特典・フォロー制度



カセットダビングサービス

TAC受付の高速ダビング機で欠席した講義のカセットテープをダビングできます。(講義録はお客様ご自身でコピーをしていただくことになります。カセットは別途ご用意ください。ダビング用のカセットは受付でも販売しております)。



DVD通信講座の特典・フォロー制度



講義録つき

DVD通信講座には講義の板書を写した講義録が添付されます。ノートをとる作業がないので、講義に集中できます。



教室・ビデオ(DVD)・DVD通信講座共通の特典・フォロー制度



自習室

TACでは授業等で使用していない教室を自習室として開放しています。
※本科生・内部監査士バック・単科生(会計学(Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練除く)の方は、受講形態(通学・通信)に関らず受講期限までご利用いただけます。
※教室の使用状況により自習室として開放できない場合もございます。
※会計学入門(Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練のみをご受講の方は対象外となります。



ビデオ(DVD)講座の特典・フォロー制度



選べる受講時間帯

午前9:30より3時間ずつの4つの時間帯を設定しています。ご自身の都合に合わせて予約の上、ご視聴できます。

◇受講時間帯(月曜～日曜)

① 9:30~12:30 ② 12:30~15:30

③ 15:30~18:30 ④ 18:30~21:30

(注)日曜日については④枠は除く。なお2講義分まで事前予約が可能です。



講義録つき

講義の中で黒板に書かれた講義録や配られたプリントをお渡しいたします。黒板の文字をノートに写す作業がないので、講義に集中できます。



重複受講制度(有料)

既に教室に出席した、または、ビデオブースにて視聴した講義につき、TAC各校のビデオブースにてご視聴いただくことができます。(要予約、500円/回)※TAC直営校での視聴に限られます。TAC提携校ではご視聴いただけませんので、ご了承ください。



添削指導

添削問題についてのご質問は、提出された答案を通じて回答し、ご返送いたします。弱点補強に大変役立ちます。
※各Part共、添削問題は全1回となります。



<http://hapilala.jp>

「ハピララ」とは、TACが運用するインターネットコミュニティスペースです。ハピララには、資格に関する様々な情報が集まっており、同じ境遇の受験生とコミュニケーションすることもできます。TAC会員を対象としたサービスですので、受講期限後でも、無料・無期限でご利用いただくことができます。



質問・最新情報はここで確認！インターネットならではの機能が充実！

TACでは、合格に向かって邁進する受講生をサポートするため、Webにおける学習支援システム「i-support」を運用しています。講義・教材に関するご質問のほか、講座からの情報収集ツールとしてご利用ください。

※i-supportのご利用は、受講期限までとなります。

※会計学入門(Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練には、i-supportは含まれていません。

※i-supportのご利用は、パソコンでインターネットに接続できる環境があり、パソコンのEメールアドレスをお持ちの方に限定させていただきます。

※i-supportの動作環境は、TACホームページ(<http://www.tac-school.co.jp/>)内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。

なお、i-supportの動作環境は、Webトレーニング・Web答練の動作環境とは異なりますので、ご確認の際は、i-support専用の動作環境をご覧ください。

質問メール

いつでもメールで質問できる！

TAC講師にいつでも直接メールで質問できます。疑問点や不明点は早急に解決することが大切です。TACの講師・スタッフが分かりやすく丁寧にお答えします。

＜質問メールに関しての注意事項＞

※CIA試験の内容については非開示が義務付けられている為、ご質問によってはお答えできない場合がございます。予めご了承ください。

※質問の回数は、4科目本科生50回、3科目本科生40回、内部監査士バック10回、各科目の単科生は各10回となります。(会計学入門(Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練を除く)。

テキスト情報

資料をダウンロード

テキストに関する情報を掲載しています。補足資料などをダウンロードしてご利用ください。

i-news

最新の試験情報や役立つ情報を発信

試験に関する情報、講座案内、公開セミナー、出題重要ポイントなど、受験生に役立つ様々な情報をWeb上で確認できます。

再受講割引制度

本科生特典③

4科目・3科目本科生のお申込みの方で受講期限後、既に受講した単科生コースの科目を各科目¥20,000で受講いただけます。苦手科目の克服や最新情報の取得等にご利用ください。

※当制度ご利用の際には、本科生の各科目を単科生でご受講いただく形式となります。

※受講形態に関しましては、本科生受講時の登録内容を問わず、教室・ビデオ(DVD)・DVD通信のいずれも選択することができます。

※カリキュラム等の変更に伴い、対象コースが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

※TAC直営校の受付のみでのお申込みになります。

合格者割引制度

他資格の合格者をバックアップ！

公認会計士試験・U.S.CPA(米国公認会計士)試験・中小企業診断士試験・税理士試験の合格者の方につきまして、「CIA講座4科目本科生」が通常受講料から10%割引でお申込みいただける「合格者割引制度」をご用意しました。是非、ダブルライセンスにチャレンジしてください。

4科目本科生…¥195,000(通常受講料)⇒¥175,500(割引受講料)

●再受講割引・合格者割引制度の詳細は35ページをご覧ください！



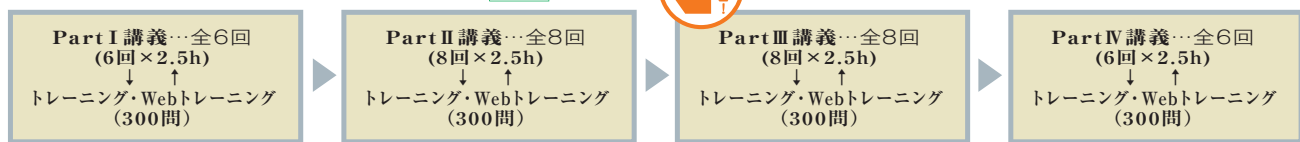
コース案内（開講コース）

初学者の方が、短期間で合格するために必要な知識を効率良く学習することができるコースをご用意しました。

会計の学習が初めての方に最適！
会計学入門をご用意しました！

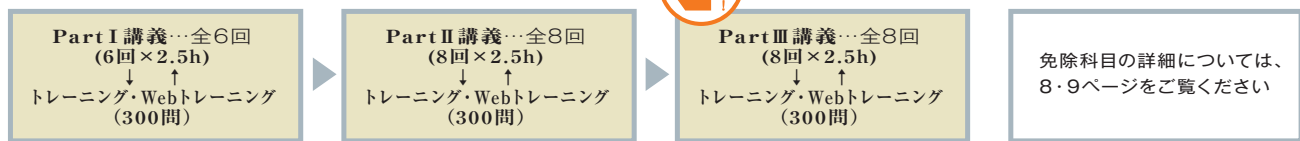
Part I から Part IV までの4科目全てを学習したい方

4科目本科生（全28回）



Part IV が免除で、Part I から Part III までを学習したい方

3科目本科生（全22回）



※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金¥10,000 (5%税込) が必要です。 ※コースNo.等の詳細は34ページの受講料一覧をご覧ください。

受講するなら断然本科生コースがお得！！ <4科目・3科目本科生には以下の特典が付いています>

本科生
特典①

CIA試験参考問題集2004

日本内部監査協会発行の参考問題集です。各設問は過去問または新規に作成された問題ですが、受験者が試験の傾向を知ることが出来るよう、設問の形式、長さ、内容について試験問題の見本となるものとなります (各Partとも100問)。

※この問題集はCIA試験のシラバスを反映した内容となっています。

※この問題集は、実際のCIA試験でどのような結果を得るかを保証するものではありません。



本科生
特典③

再受講割引制度

4科目・3科目本科生のお申込みの方で受講期限後、既に受講した単科生コースの科目を各科目¥20,000で受講いただけます。苦手科目の克服や最新情報の取得等にご活用ください。

詳細は35ページをご覧ください。

※当制度ご利用の際には、本科生の各科目を単科生でご受講いただく形式となります。
※受講形態に関しましては、本科生受講時の登録内容を問わず、教室・ビデオ (DVD)・DVD通信のいずれも選択することができます。
※カリキュラム等の変更に伴い、対象コースが変更となる場合がございます。予めご了承ください。
※TAC直営校の受付のみでのお申込みになります。

★各Partを単科生でお申込みいただくよりも、本科生でお申込みいただいたほうが受講料もお得です。

厚生労働省の指導により教育訓練給付制度ご利用者がTACから特典等を受け取った場合、ハローワークで給付金を申請する際に実質的な受講経費の値引きとして取り扱われます。受け取った特典はハローワークに「返還金」として申告する必要があります。尚、教育訓練給付制度指定講座の4科目本科生DVD通信講座の特典である「CIA試験参考問題集2004」が返還金の対象となります。

本科生
特典②

教室フリーパス

本科生をご受講の方は、受講形態 (教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座) に関わりなく、ご自身の受講期間内であれば開講している教室講義に自由に出席することができます。

- ・直接講師に質問ができる
- ・講義DVDでインプットした知識を教室講義で再度チェック
- ・他の受講生と一緒に講義を受けることにより、モチベーションアップ

○受講期間

- ◆2009年夏入学コース...2010年7月31日まで
- ◆2009年冬入学コース...2010年11月30日まで
- ◆2010年春入学コース...2011年3月31日まで

上記の受講期間内であれば、全ての教室講義に出席することができます。

※教室フリーパスは教室講義に出席できる特典です。
通学ビデオ (DVD) 講座での視聴は出来ませんので、ご注意ください。

本科生
特典④

専門職の実施のフレームワーク

CIA試験合格者の実務をサポートするため、4科目・3科目本科生の申込み者合格特典として、日本内部監査協会発行「専門職の実施のフレームワーク」を贈呈しております (合格確認手続き終了後、ご自宅に送付いたします)。
※詳細はお申込み時に配付する受講ガイドでご確認ください。



入会金と受講料の一部が戻って来る
教育訓練給付制度
指定講座申込受付中！

4科目本科生のDVD通信講座が適用コースとなります。

一定の条件をみたした場合、厚生労働大臣が指定した講座の入会金と受講料の一部が支給される制度です。詳細については、31ページおよびTAC発行の「教育訓練給付制度」案内書をご覧ください。

各Partを単科で学習したい方

単科生

各Partを単科で受講することができる単科生コースをご用意しました。既に幾つかのPartを合格された方にオススメのコースです。



Part I・IVの各受講料 (5%税・教材費込み)
教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座...¥60,000

Part II・IIIの各受講料 (5%税・教材費込み)
教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座...¥80,000

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金¥10,000 (5%税込) が必要です。 ※コースNo.等の詳細は34ページの受講料一覧をご覧ください。

教材一覧

	教材名	受講ガイド	規定集※1	CIA試験参考問題集2004※2	テキスト				トレーニング				Webトレーニング				基本講義DVD※3				添削問題※4	講義録※5
					Part I	Part II	Part III	Part IV	Part I	Part II	Part III	Part IV	Part I	Part II	Part III	Part IV	Part I	Part II	Part III	Part IV		
	数量	1冊	1冊	1冊	各Part1冊				各Part1冊				各PartWeb上で実施				6回分	8回分	8回分	6回分	各Part1回	—
4科目本科生	教室講座	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—
	ビデオ (DVD) 講座	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	●
3科目本科生	教室講座	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ (DVD) 講座	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●
Part I 単科生	教室講座	●	●	—	●	—	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ (DVD) 講座	●	●	—	●	—	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●
Part II 単科生	教室講座	●	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ (DVD) 講座	●	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●
Part III 単科生	教室講座	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ (DVD) 講座	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
Part IV 単科生	教室講座	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ (DVD) 講座	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●

※1 規定集はPart I・IIのみに付きます。また1冊にまとめられています。

※2 CIA試験参考問題集2004は4科目・3科目本科生申込み者のみとなります。

※3 DVD通信講座には講義を収録したDVDが送付されます。

※4 添削問題は各Partに1回付いており、DVD通信講座のみに含まれます。教室・

ビデオ (DVD) 講座には付いておりません。教育訓練給付制度指定講座の4科目本科生DVD通信講座には添削問題が全4回 (各Part1回) ついておりますが、修了要件の一つである添削提出率80%をクリアするには、全4回全ての添削問題の提出が必要です。

※5 講義によっては、講義録がない場合もあります。

●その他、サポートコースについては、26ページをご覧ください！

●詳しい日程については、28～30ページの日程表をご覧ください！

内部監査士取得者専用コースを新規にスタートします。詳細は27ページをご覧ください！



サポートコース

TACの本科生・内部監査士バック・単科生コースをご受講いただければ、十分合格レベルに到達できますが、幾つか学習をサポートするコースをご用意しました。学習を行う上で、必要に応じてご利用ください。

初めて会計の学習をされる方、IT対策に更に力を入れたい方、過去問を補強したい方、直前期に模擬試験を受けたい方に最適！！



初めて会計の学習をされる方

お得な受講料
¥10,000

会計学入門（Basic会計講座）（全6回）

初めて会計を学習される方でも、PartⅢの講義を安心して受講していただけるように、会計学入門（Basic会計講座）では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。

※PartⅢの講義は、財務会計・管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります。必要に応じて、会計学入門（Basic会計講座）をご受講ください。

★教材：テキスト1冊、トレーニング1冊、Webトレーニング（過去問100問）

※i-support（質問メール等）・教室フリーパスはご利用できません。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金¥10,000（5%税込）が必要です。 ※コースNo.等の詳細は34ページの受講料一覧をご覧ください。

最難関であるIT（情報技術）を科目横断的に学習したい方

IT対策講座（全6回）

IT（情報技術）はPartⅢにおいて出題割合の30%～40%を占めるとともに、PartⅠ・Ⅱでも出題される最重要論点です。

IT対策講座ではこの最重要論点について各Partの断片的知識を有機的に結合し、科目横断的に徹底したCIA試験対策を行います。

★教材：テキスト1冊、トレーニング1冊、Webトレーニング（過去問150問）

※i-support（質問メール等）・教室フリーパスはご利用できません。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金¥10,000（5%税込）が必要です。 ※コースNo.等の詳細は34ページの受講料一覧をご覧ください。

本試験と同一形式の模擬試験を受けたい方

Web答練（全5回）

Web答練は、Web（パソコン）において答案練習することができる模擬試験です。過去に出題された試験問題がCIA試験と同形式で出題され、成績はレーダーチャート等で分析できますので、CIA試験の直前対策としてご利用ください。

※Web答練のみお申込みの場合はTAC入会金10,000円（5%税込）は不要となっております。

主要機能

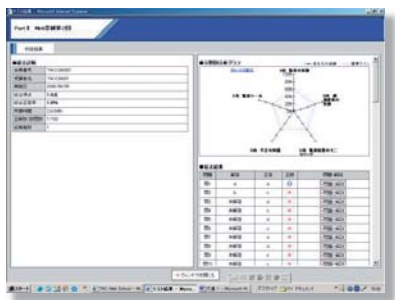
- ・出題形式は四肢択一式
- ・出題数は各Part共100問
- ・試験時間は2時間45分

★CIA試験と同形式で出題されます。

★見直したい問題にはチェック・マークを付し、まとめて見直すことができます。

★答練途中にご都合が悪くなった場合、中断機能により答練を中断し、ご都合の良い時間に答練を再開することができます。

★受験場所・受験時間に制約はございません。



同一PartのWeb答練を再度お申込みいただく場合、提供する問題は同一の内容となります。また、入学月が異なりましても、問題は同一の内容となります。ご注意ください。
（例：夏入学コースと冬入学コースは同一内容です）

答練概要

★成績はレーダーチャート等で分析できます。

※Web答練の動作環境は、WEB SCHOOLページにて、お申込み前に必ずご確認ください。

★試験回数：5回（100題×5回）

★受験料：各Part 10,000円（5%税込）

※各Partごとのお申込みとなります。

※同じ答練を繰り返し実施することはできません。

※ご自身の成績と解説がWeb上で確認できます（Web上からプリントアウトすることはできません）。

※下記の受講期間内であれば、一度聞いていただいた答練の問題・成績・解説を見ることができます。

※教材等の送付はございません。

※i-support（質問メール等）はご利用できません。

※お申込み後、3営業日以降からWeb答練を受講することができます。

※Web答練の受講期間は以下になります。

◆2009年夏入学…2009年8月1日～2010年3月31日まで

◆2009年冬入学…2009年12月1日～2010年7月31日まで

◆2010年春入学…2010年4月1日～2010年11月30日まで

●会計学入門（Basic会計講座）とIT対策講座の詳しい日程については、30ページの日程表をご覧ください！

⇒ 新規開講！

内部監査士取得者専用コース（通信講座）

日本から世界へ 内部監査のグローバルライセンスにチャレンジ！！

内部監査士には、国際資格であるCIAの資格試験にあたり、PartⅣの受験が免除となる特典が与えられており、多くの内部監査士の方々が、その後、CIA資格を取得し、内部監査のスペシャリストとして、実務の最先端で活躍されています。

■コース案内

（社）日本内部監査協会が認定する内部監査士（下記参照）の方がCIA試験を受験される場合、PartⅣの受験は免除となり、更に、受験科目であるPartⅠ・Ⅱについても、認定講習会（内部監査士資格の認定時に行われる専門的研修）により内部監査の理論・実務についての専門的な知識を習得していることから、既に受験可能な知識レベルに達しているといえます。そこで！TACでは、そんな内部監査士の方々に

サポートすべく、PartⅢの受講とPartⅠ・Ⅱの教材資料を組み合わせ、効果的かつ大変お得な「内部監査士バック」をラインナップいたしました！！是非、この機会にTACで短期合格を勝ち取り、内部監査のスペシャリストとして、実務の最先端でご活躍ください！！

※初学者の方がCIA資格を取得する場合、内部監査士資格を取得する特段の理由がない限り、そのままCIA試験を受験してください。

◎ご自身の学習スタイルに合わせて、3科目本科生または内部監査士バックをお選びください。

学習スタイル	コース	本科生特典	PartⅠ	PartⅡ	PartⅢ	質問	受講期間（最長）	受講料
DVD通信	3科目本科生	○	講義DVD+教材	講義DVD+教材	講義DVD+教材	40回	12ヵ月	160,000円
独学+DVD通信	内部監査士バック	—	教材のみ	教材のみ	講義DVD+教材	10回	8ヵ月	95,000円
DVD通信	PartⅢ単科	—	—	—	講義DVD+教材	10回	8ヵ月	80,000円

■カリキュラム

内部監査士バック（通信講座）

内部監査士バック 受講料（5%税・教材費込み）

DVD通信講座…¥95,000

PartⅠ講義…資料のみ
↓
トレーニング・Webトレーニング
（300問）

PartⅡ講義…資料のみ
↓
トレーニング・Webトレーニング
（300問）

PartⅢ講義…全8回
（8回×2.5h）
↓
トレーニング・Webトレーニング
（300問）

内部監査士の方は、
PartⅣは免除となります

◎内部監査士バックについて

①PartⅠ・Ⅱは規定集、テキスト、トレーニング（Webトレーニング付き）、添削問題のみの送付となります（講義録なし）。

PartⅢについては、テキスト、トレーニング（Webトレーニング付き）、添削問題と教室講義を収録したDVDが送付されます（講義録あり）。

②本科生特典である、CIA試験参考問題集2004・教室フリーパス・再受講割引制度、専門職の実施のフレームワークは内部監査士バックには含まれておりません。

③i-supportの質問の回数は10回となります（i-supportについては23ページをご覧ください）。

④必要に応じて左記ページのサポートコースをご利用ください。

⑤内部監査士バックの受講期間は以下のとおりです。

◆2009年夏入学…2009年8月1日～2010年3月31日まで ◆2009年冬入学…2009年12月1日～2010年7月31日まで

基礎からしっかりと学習したい方は、PartⅠ・Ⅱ・Ⅲ全てのPartに教室講義を収録したDVDが付いている「3科目本科生」をお申込みください。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金¥10,000（5%税込）が必要です。

※内部監査士に合格された方に限り、内部監査士バックをお申込みいただけます。

※コースNo.等の詳細は34ページの受講料一覧をご覧ください。

複合的な周辺知識により、内部監査の世界は大きく広がります！

内部監査のしくみは大企業だけでなく、中小企業にも必要不可欠です。私は、税理士業務を通じて、内部監査のスキルを中小企業の業務改善に活用しています。

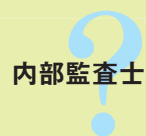
例えば、現金取扱い者と管理者による現金二重確認による不正防止など、中小企業でも考え方として内部管理面の強化をすることで、経営者の経営安全の向上に日々努めています。このように、内部監査のスキルは、他の資格や複合的な周辺知識により、幅広い分野で活用することができます。

CIA資格は内部監査に関する唯一の国際資格です。資格取得にあたって新たに得る知識や国際資格としての性格は、内部監査の世界を大きく広げることでしょう。この機会に世界に通じる内部監査のスペシャリストを目指してみたいかがでしょうか。内部監査士の同志として、皆さんのご活躍を心より応援しています。

内部監査士とは

内部監査士とは、（社）日本内部監査協会が主催する内部監査認定講習会を修了したものに与えられる称号であり、日本国内における認定資格です。認定講習会（年6回開催、講習時間は50時間）では、内部監査の評価を高め、内部監査業務に携わる人々の教育・養成を行い、能力の向上を図ることを目的とした内部

監査の理論・実務についての専門的な研修が行われます。そして、所定の課程を修め、修了論文を提出した受講者については、資格審査委員会が論文審査を行い、さらに講習出席状況を考慮のうえ内部監査士としての可否が決定されます。





日程表

毎月開講

教室

ビデオ (DVD)

DVD通信

【教室講座】

2009年夏・冬入学

4科目本科生・3科目本科生・単科生コース

◆本科生をお申込みの方は、2009年夏入学の受講期限が2010年7月31日までとなります。 受講期限までは下記の全ての教室講座に予約なしで出席することができます（教室フリーパス）。			
入学月	教室講座：水道橋校		2009年夏入学 教室講座日程 [10:00~12:30、14:00~16:30]
	10:00~12:30	14:00~16:30	
夏入学コース	Part I ①	Part I ②	8/1 (土)
	Part I ③	Part I ④	8/8 (土)
	Part I ⑤	Part I ⑥	8/22 (土)
	Part II ①	Part II ②	8/29 (土)
	Part II ③	Part II ④	9/5 (土)
	Part II ⑤	Part II ⑥	9/12 (土)
	Part II ⑦	Part II ⑧	9/26 (土)
	Part III ①	Part III ②	10/3 (土)
	Part III ③	Part III ④	10/10 (土)
	Part III ⑤	Part III ⑥	10/17 (土)
	Part III ⑦	Part III ⑧	10/24 (土)
	Part IV ①	Part IV ②	11/7 (土)
冬入学コース	Part I ①	Part I ②	12/5 (土)
	Part I ③	Part I ④	12/12 (土)
	Part I ⑤	Part I ⑥	12/19 (土)
	Part II ①	Part II ②	1/9 (土)
	Part II ③	Part II ④	1/16 (土)
	Part II ⑤	Part II ⑥	1/23 (土)
	Part II ⑦	Part II ⑧	1/30 (土)
	Part III ①	Part III ②	2/6 (土)
	Part III ③	Part III ④	2/13 (土)
	Part III ⑤	Part III ⑥	2/20 (土)
	Part III ⑦	Part III ⑧	2/27 (土)
	Part IV ①	Part IV ②	3/13 (土)
春入学コース	Part I ①	Part I ②	4/10 (土)
	Part I ③	Part I ④	4/17 (土)
	Part I ⑤	Part I ⑥	4/24 (土)
	Part II ①	Part II ②	5/8 (土)
	Part II ③	Part II ④	5/15 (土)
	Part II ⑤	Part II ⑥	5/22 (土)
	Part II ⑦	Part II ⑧	5/29 (土)
	Part III ①	Part III ②	6/5 (土)
	Part III ③	Part III ④	6/12 (土)
	Part III ⑤	Part III ⑥	6/19 (土)
	Part III ⑦	Part III ⑧	6/26 (土)
	Part IV ①	Part IV ②	7/10 (土)

教室講座は毎月開講しています！

Part I から Part IV の順で学習する8月入学、12月入学、4月入学のほかに、10月からPart III、IV、I、IIの順で学習できる10月入学コースなど、TACのCIA講座は毎月開講しています！

◆教室開講日が過ぎてからでも、十分受講が可能です！

- ① 本科生を受講する場合、DVD通信講座がオススメです。教室フリーパスのフォロー制度がご利用いただけるので、過ぎてしまった講義をご自身で学習していただき、その後教室講座に出席することができます。
- ② 教室講座の場合、過ぎてしまった講義の部分をビデオ (DVD) 講座で受講し、教室講座の日程に追いついた所で、教室講座に出席することができます。

◆本科生をお申込みの方は、2009年冬入学の受講期限が2010年11月30日までとなります。受講期限までは下記の全ての教室講座に予約なしで出席することができます（教室フリーパス）。

2009年冬入学 教室講座日程 [10:00~12:30、14:00~16:30]

入学月	10:00~12:30	14:00~16:30	
12月	Part I ①	Part I ②	12/5 (土)
	Part I ③	Part I ④	12/12 (土)
	Part I ⑤	Part I ⑥	12/19 (土)
1月	Part II ①	Part II ②	1/9 (土)
	Part II ③	Part II ④	1/16 (土)
	Part II ⑤	Part II ⑥	1/23 (土)
	Part II ⑦	Part II ⑧	1/30 (土)
2月	Part III ①	Part III ②	2/6 (土)
	Part III ③	Part III ④	2/13 (土)
	Part III ⑤	Part III ⑥	2/20 (土)
	Part III ⑦	Part III ⑧	2/27 (土)
3月	Part IV ①	Part IV ②	3/13 (土)
	Part IV ③	Part IV ④	3/20 (土)
	Part IV ⑤	Part IV ⑥	3/27 (土)
4月	Part I ①	Part I ②	4/10 (土)
	Part I ③	Part I ④	4/17 (土)
	Part I ⑤	Part I ⑥	4/24 (土)
5月	Part II ①	Part II ②	5/8 (土)
	Part II ③	Part II ④	5/15 (土)
	Part II ⑤	Part II ⑥	5/22 (土)
	Part II ⑦	Part II ⑧	5/29 (土)
6月	Part III ①	Part III ②	6/5 (土)
	Part III ③	Part III ④	6/12 (土)
	Part III ⑤	Part III ⑥	6/19 (土)
	Part III ⑦	Part III ⑧	6/26 (土)
7月	Part IV ①	Part IV ②	7/10 (土)
	Part IV ③	Part IV ④	7/17 (土)
	Part IV ⑤	Part IV ⑥	7/24 (土)

夏入学の講義は4ヵ月で終了しますが、必要に応じて教室フリーパスをご利用ください。
左記日程の2010年春入学コースまでの全ての講義に出席することができます。（本科生のみ）

冬入学の講義は4ヵ月で終了しますが、必要に応じて教室フリーパスをご利用ください。
左記日程の2010年春入学コースと2010年夏入学コースまでの全ての講義に出席することができます。（本科生のみ）



【教室講座】

2010年春入学

4科目本科生・3科目本科生・単科生コース

◆本科生をお申込みの方は、2010年春入学の受講期限が2011年3月31日までとなります。受講期限までは下記の全ての教室講座に予約なしで出席することができます（教室フリーパス）。

2010年春入学 教室講座日程 [10:00~12:30、14:00~16:30]

入学月	10:00~12:30	14:00~16:30	
4月	Part I ①	Part I ②	4/10 (土)
	Part I ③	Part I ④	4/17 (土)
	Part I ⑤	Part I ⑥	4/24 (土)
5月	Part II ①	Part II ②	5/8 (土)
	Part II ③	Part II ④	5/15 (土)
	Part II ⑤	Part II ⑥	5/22 (土)
	Part II ⑦	Part II ⑧	5/29 (土)
6月	Part III ①	Part III ②	6/5 (土)
	Part III ③	Part III ④	6/12 (土)
	Part III ⑤	Part III ⑥	6/19 (土)
	Part III ⑦	Part III ⑧	6/26 (土)
7月	Part IV ①	Part IV ②	7/10 (土)
	Part IV ③	Part IV ④	7/17 (土)
	Part IV ⑤	Part IV ⑥	7/24 (土)

春入学の講義は4ヵ月で終了しますが、必要に応じて教室フリーパスをご利用ください。2010年冬入学コースまでの全ての講義に出席することができます。（本科生のみ）

【ビデオ (DVD) ・DVD通信講座】

2009年夏・冬・2010年春入学

4科目本科生・3科目本科生
内部監査士バック (通信のみ) ・単科生コース

◆本科生をお申込みの方は、受講期間内であれば、左記の全ての教室講座に予約なしで出席することができます（教室フリーパス）。ご自身の受講期限については、下記をご参照ください。

	入学月	科 目 名		ビデオ(DVD)講座 視聴可能日	DVD通信講座送付日				
					教材送付開始日	DVD送付開始日			
夏入学コース	8月	PartⅠ①	PartⅠ②	8/1(土)以降 順次視聴可能	7/24(金)～	7/24(金)～			
		PartⅠ③	PartⅠ④						
		PartⅠ⑤	PartⅠ⑥						
	9月	PartⅡ①	PartⅡ②						
		PartⅡ③	PartⅡ④						
		PartⅡ⑤	PartⅡ⑥						
	10月	PartⅡ⑦	PartⅡ⑧						
		PartⅢ①	PartⅢ②						
		PartⅢ③	PartⅢ④						
	11月	PartⅢ⑤	PartⅢ⑥						
		PartⅢ⑦	PartⅢ⑧						
		PartⅣ①	PartⅣ②						
12月	PartⅣ③	PartⅣ④	12/1(火)以降 順次視聴可能	11/27(金)～	11/27(金)～				
	PartⅣ⑤	PartⅣ⑥							
	PartⅠ①	PartⅠ②							
1月	PartⅠ③	PartⅠ④							
	PartⅠ⑤	PartⅠ⑥							
	PartⅡ①	PartⅡ②							
2月	PartⅡ③	PartⅡ④							
	PartⅡ⑤	PartⅡ⑥							
	PartⅡ⑦	PartⅡ⑧							
3月	PartⅢ①	PartⅢ②							
	PartⅢ③	PartⅢ④							
	PartⅢ⑤	PartⅢ⑥							
春入学コース	4月	PartⅢ⑦	PartⅢ⑧	4月中旬以降 順次視聴可能	4月中旬以降 随時送付開始	4月中旬以降 随時送付開始			
		PartⅣ①	PartⅣ②						
		PartⅣ③	PartⅣ④						
	5月	PartⅣ⑤	PartⅣ⑥						
		PartⅠ①	PartⅠ②						
		PartⅠ③	PartⅠ④						
	6月	PartⅠ⑤	PartⅠ⑥						
		PartⅡ①	PartⅡ②						
		PartⅡ③	PartⅡ④						
	7月	PartⅡ⑤	PartⅡ⑥						
		PartⅡ⑦	PartⅡ⑧						
		PartⅢ①	PartⅢ②						

TACには特別な受講メリットがあります！！

2010年夏入学の日程は2010年2月中旬 完成予定のCIA総合案内書をご覧ください。

◆教室フリーパス (本科生のみ)

本科生をご受講の方は、受講形態 (教室・ビデオ (DVD) ・DVD通信講座) に関わりなく、ご自身の受講期間内であれば開講している教室講義に自由に出席することができます。

○受講期間

- ◆2009年夏入学コース…2010年7月31日まで
- ◆2009年冬入学コース…2010年11月30日まで
- ◆2010年春入学コース…2011年3月31日まで

上記の受講期間内であれば、全ての教室講義に出席することができます。

※教室フリーパスは教室講義に出席できる特典です。通学ビデオ (DVD) 講座での視聴は出来ませんので、ご注意ください。

<受講方法の一例> 仕事が忙しくて、通学講座が難しい社会人の方



◆各Partを単科生でお申込みの場合、上記日程表の各Part (色分した部分) の日程をご覧ください。

Part I Part II Part III Part IV

各コースの受講期限			
4科目本科生 3科目本科生 共通	・2009年夏入学 (8~11月) …2010年7月31日 ・2009年冬入学 (12~3月) …2010年11月30日 ・2010年春入学 (4~7月) …2011年3月31日	単科生 共通	・2009年夏入学 (8~11月) …2010年3月31日 ・2009年冬入学 (12~3月) …2010年7月31日 ・2010年春入学 (4~7月) …2010年11月30日

※都合により、日程が変更になる場合もございます。予めご了承ください。 ※教室フリーパスのフォロー制度は本科生のみの特典となります。
※教室フリーパスの期限は、上記の各コースの受講期限と同様となります。



日程表 DVD通信 サポートコース

●会計学入門 (Basic会計講座)

	DVD通信講座教材送付開始日
夏入学	8/3 (月) から随時送付開始
冬入学	12/1 (火) から随時送付開始
2010年 春入学	4/1 (木) から随時送付開始

◆会計学入門 (Basic会計講座) 申込み可能期間

- ・夏入学…2009年8月1日～11月30日
- ・冬入学…2009年12月1日～2010年3月31日
- ・2010年春入学…2010年4月1日～7月31日
- ※夏入学・冬入学は2009年春入学コースの内容と同一となります。

●IT対策講座

	DVD通信講座教材送付開始日
夏入学	8/3 (月) から随時送付開始
冬入学	12/1 (火) から随時送付開始
2010年 春入学	4/1 (木) から随時送付開始

◆IT対策講座申込み可能期間

- ・夏入学…2009年8月1日～11月30日
- ・冬入学…2009年12月1日～2010年3月31日
- ・2010年春入学…2010年4月1日～7月31日
- ※夏入学・冬入学は2009年春入学コースの内容と同一となります。

※会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座は本科生・内部監査士バック・単科生に含まれておりません。

※都合により、日程が変更になる場合もございます。予めご了承ください。

※会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座はi-support (質問メール等)・教室フリーパスはご利用いただけません。

※会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座はDVD通信講座でのご受講となります。

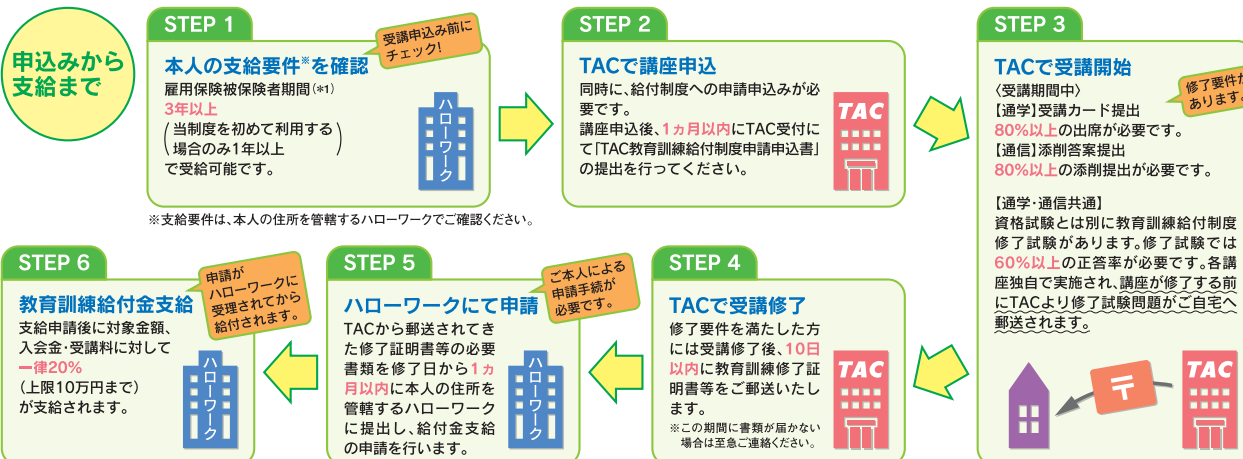


教育訓練給付制度とは

教育訓練給付制度とは、働く人の主体的な能力開発の取組を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とした雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者 (現在、在職中の方) または、一般被保険者であった方 (すでにお仕事を退職された方) が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、本人が支払った入会金・受講料の20% (上限10万円) がハローワークから支給されます。

支給対象・支給額

一定の雇用保険被保険者期間を経過した方は、受講料に対する20% (上限10万円) がハローワークから支給されます。
(詳しくは以下の「申込みから支給まで (各STEP)」をご確認ください)



(※1) 雇用保険被保険者期間…雇用保険被保険者とは、雇用保険の適用事業所に雇用されている労働者のことをいいます。ここでは一般被保険者を指します。雇用保険被保険者期間とは、お申込みをする方の受講開始時点での雇用保険への加入期間をいいます。

★詳細についてはTAC発行の「教育訓練給付金制度案内書」をご覧ください。

平成21年6月1日現在

教育訓練給付制度に関するQ&A

- Q 雇用保険被保険者期間について教えてください**
A 支給対象となるのは、受講開始日現在で在職中の方のうち、雇用保険の一般被保険者である期間が通算して3年以上ある方です。一度退職して改めて就職した場合、再就職までの空白期間が1年以内であれば、前職の一般被保険者であった期間も通算されます。なお、この制度を初めて利用する方に限り、一般被保険者期間が1年を経過していればご利用が可能です。
- Q 「一般被保険者」資格に年齢制限はあるのですか?**
A 年齢により資格が切り替わります。一般被保険者の方は65歳の誕生日の前日に一般被保険者でなくなり、高齢年齢継続被保険者として資格が切り替わることにご注意ください。このため、受講開始日が66歳の誕生日の前日以降にある場合は支給対象になりません。(適用対象期間の延長が行われた場合を除く)。
- Q 受講料を会社が補助した場合は、支給対象にならないのでしょうか?**
A 自己負担額が対象です。支給の対象となる経費は、受講される方自らの名においてお支払いになった費用を言い、会社等から支払われた費用は対象となりません。よって受講者本人と、会社等がそれぞれの名義で分担・区分して受講料をお支払いになった場合、そのうち受講者ご本人様がご負担になった額のみが経費とみなされます。
- Q 受講料をクレジットカードまたは、デビットカードで支払いたのですが給付の支給対象になりますか?**
A 給付金支給対象となります。ただし、ご利用になるカードの名義は、当然ながら受講者ご本人様のものに限られます。ご家族などのカードでのお支払いは、給付金の支給対象にはなりません。また、ご本人様のクレジットカードや教育ローンをご利用になる場合でも、支給対象となる金額は、ローン会社の手数料を除いたお支払い金額 (入会金・受講料) のみです。
- Q 「受講開始日に支給資格が必要である」その受講開始日はどの日なのですか?**
A DVD通信講座は初回発送日です。通学講座と通信講座では、受講開始日の定義が異なります。TAC公認内部監査人(CIA)講座の教育訓練給付制度指定講座であるDVD通信講座は、第1回目の教材発送日が受講開始日となります。ご自身の支給資格が受講開始日に要件を満たしているか、ご確認ください。
- Q 受講開始後の制度申込みは認められないのでしょうか?**
A 制度利用の申込みは原則として受講の申込から1ヵ月以内です。給付制度申込者の出席・添削管理を行う関係上、TACでは講座をお申込みいただいた1ヵ月以内に給付制度のお申込みを完了されることをお願いしております。それ以降に申しましてはTAC各校受付にお問い合わせください。
- Q この制度は一人あたり何コースまで利用できるのでしょうか?**
A 3年に1コースです。この制度は、3年に1コースに限りご利用いただける制度です。一度ご利用になるとその時の受講開始日以前の一般被保険者であった期間は、次にこの制度をご利用する時には通算されません。このため、過去の受講開始日以降の支給要件期間が3年以上にならないと、新たな資格が得られないことになります。ただし、この制度を初めて利用する方に限り、一般被保険者期間が1年を経過していればご利用が可能です。
- Q 「適用対象期間の延長」について教えてください**
A 受講開始日において既にお仕事を退職されている方のうち、一般被保険者の資格を失った日(離職日の翌日)以降1年間のうちに妊娠、出産、育児、疾病、負傷等の理由により引き続き30日以上対象教育訓練の受講を開始できない日がある場合は、ハローワークにその旨を申し出ることにより、その一般被保険者資格を失った日から受講開始日までの教育訓練給付の対象となり得る期間(適用対象期間)にその受講を開始できない日数(最大3年まで)を加算することができます。

厚生労働省の指導により教育訓練給付制度ご利用者がTACから特典等を受け取った場合、ハローワークで給付金を申請する際に実質的な受講経費の値引きとして取り扱われます。受け取った特典はハローワークに「返還金」として申告することが必要となります。尚、教育訓練給付制度指定講座の4科目本科生DVD通信講座の特典である「CIA試験参考問題集2004」が返還金の対象となります。

<http://ec.tac-school.co.jp/>

uketsuke
受付

TACの通信講座・公開模擬試験等が、
ネット上でお申込みできます。

ネット上で
講座申込みが
できます!



お申込み可能なコースは?

取扱コース
大幅増設!

- 各種通信講座** 各資格の人気コースから、お手軽なコースまでネット上でお申込みいただけます (取扱コースの詳細は、サイトにてご確認ください)。
- Web通信講座** 一部のWeb通信講座では、「思い立ったらすぐ受講!」即時受講に対応しております。
※クレジットカード・JNBの決済の場合のみ
- 公開模擬試験** 過去問題を徹底分析し、本試験の臨場感が体験できる「公開模擬試験」もこちらでお申込みいただけます。

支払方法は?

豊富なバリエーションからご希望の支払方法をご選択いただけます。
 ■クレジットカード※1 ■銀行振込 ■コンビニ※2
 ■ジャパンネット銀行(リンク決済)※3

- ※1…DC、VISA、Master、JCB、AMEX。1回、2回、ボーナス一括払いに加え、分割払いがご利用いただけます。分割払いの回数は、3・5・6・10・12・15・18・20・24回払いの9種類です。AMEXカードでの2回払いはご利用いただけません。
- ※2…全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマートでお支払いが可能です。コンビニ決済は30万円までのお支払いとなります。
- ※3…ジャパンネット銀行(リンク決済)なら手数料TAC負担でお振込みいただけます。



無料体験入学のご案内

お申込み前に講義を無料で体験していただけます。ご自身の目で確かめてからお申込みください！

各
校
舎
で
体
験



教室講座



ビデオ(DVD)講座



TAC各校受付または無料公開セミナー&講座説明会にて配布する
「無料体験入学申込書」にご記入の上、当日直接校舎までお越しください。

ビデオ(DVD)
講座の体験入学

専用予約ダイヤル 03(5276)8980
平日 9:30~19:00/土日祝 9:30~18:00

1

各科目の初回講義の日程を日程表
などでご確認ください。ご不明な
場合はお問い合わせください。
※教室・ビデオ(DVD)講座で体験入学
いただけるのは、各科目の初回講義に
限ります。

2

予約は不要です。講義開始の約
20分前に受付窓口にお越しください。
※ビデオ(DVD)講座は視聴希望日の前
日までに、ご予約ください。

3

「無料体験入学申込書」にご記
入の上、ご提出ください。初回講
義の教材一式をお貸しします。

4

講義にご出席いただけます。教室
にお越しください。ビデオ(DVD)講
座の場合は、DVDルームにご案
内します。

W
e
b
で
体
験

TAC動画チャンネル

TACの体験講義がWebで見られる！

TACホームページ内のTAC動画チャンネルより体験講義の動画をご視聴いただけます。
体験講義に使用する講義録もPDFにて出力可能です。

※体験講義は教室講義を収録したものにります。
※接続環境・動作環境などの詳細は、TACホームページをご確認ください。
※視聴申込み(無料)が必要になります。予めご了承ください。



まずはTACホームページへ！

<http://www.tac-school.co.jp/>

TAC動画チャンネルの動画ラインナップ！ 講座説明会・公開セミナーも動画配信中！

- ◆講座説明会…資格制度や試験の内容など、まずは資格の講座説明会をご覧ください。
- ◆セミナー…実務家の話や講師による試験攻略法など、これから学習する人も必見です。
- ◆無料体験講義…実際の講義を配信しています。TACの講義の質の高さを実感してください。

しかも全て
無料！



TAC公認内部監査人(CIA) 講座メールマガジン

CIAに関する役立つ情報をメールでお届けします！(登録無料)

CIA講座では、試験情報・講座情報をメールでお届けします。

これから受験される方も、CIAのことがまだよくわからない方も、
CIAに興味のある全ての方に楽しんでいただける内容となっています。
ご希望の方は今すぐTACのホームページへ！！



<http://www.tac-school.co.jp/>

<主な内容> ◆TACイベント情報 ◆TAC開講案内 ◆学習上のアドバイスやポイントなど役立つ情報 ◆その他

登録は
無料！



頼れるTACの無料受講相談

自宅に居ながら、疑問解消！入会の強制は一切致しませんのでご安心ください。

資格・受講形態・コース選択etc.で迷っている方に！

資格の悩みは尽きることがないのになかなか相談できない…。資格取得を
目指す方の疑問にお客様専任のアドバイザーが答えします。



電話で！

これから始める相談ダイヤル

0120-443-411

※携帯・自動車電話、PHS、衛生電話からもご利用になれます。
<受付時間> 9:30~19:00(月曜~金曜) 9:30~18:00(土曜・日曜・祝日)



メールで！

これから始める相談メール

<http://www.tac-school.co.jp/>



TAC
ホームページ
にアクセス

「無料受講相談」
をクリック

「これから始める相談メール」
をクリック

これから「通信講座」で受講をお考えの方へ！

通信講座に興味はあるけど…と迷っている方も講座内容の最終確認の方
もお電話ください。お客様が知りたい・聞きたい情報を、アドバイザーが
お応えいたします。「○○資格って、どんな資格？」「今からでも学習はできる
の？」という質問や「フォロー制度ってどんなの？」「教室講座との違いはあ
るの？」というご質問など、お客様に合わせて情報を提供しております。ぜひ、
ご利用ください。また、通信ダイヤルの利用後に、TACホームページ上から
アンケートにご回答いただくと、「通信講座限定の入会金(¥10,000)免
除券」をプレゼントしております。



ハロー！「通信」質問ダイヤル

0120-634-120

※携帯・自動車電話、PHS、衛生電話からもご利用になれます。
<受付時間> 9:30~19:00(月曜~金曜) 9:30~18:00(土曜・日曜・祝日)